

茨城県 獣医師会 会報

JOURNAL OF THE IBARAKI
VETERINARY MEDICAL
ASSOCIATION

2024.11 No.102

公益社団法人 茨城県獣医師会

獣医師会のほけん

公益社団法人日本獣医師会 福祉共済事業

所得補償保険

団体割引
20%

オプション
①休診時の
事業支出の補償

オプション
②代診医の
雇い入れ費用の補償

無事故戻し
返れい金 **20%**
保険期間が満了し、保険期間中に、
就業不能・就業障害の発生がなかった場合、
無事故戻し返れい金をご加入者にお返します。

先生ご自身が病気やケガで診療できず休診した場合に備えていますか？

火災や水災などにより病院施設に損傷があった場合や、設備の電氣的・機械的事項によって休診の場合の事業支出を補償するのは火災保険がありますが、
医師が病気やケガで診療できないときの休診補償には、本特約がお役に立ちます。

獣医師が病気やケガで
診療できない時



万が一の休診の際の
事業支出(固定費)



代診医を雇い入れた時の
費用



獣医師が病気やケガになって休診する場合、
従業員の給与などの事業支出(固定費)はかかります。

獣医師が病気やケガで診療できないときの
休診補償それが

①「事業主費用追加補償特約」です！

皆さまの声を
保険にしました！



獣医師が病気やケガになって、代診医を雇い入れる場合、
給与、手当等がかかります。

獣医師が病気やケガになって
代診医を雇い入れる時の費用補償それが

②「事業主費用補償特約」です！



スマートフォンからも資料請求いただけます。QRコードからアクセスしてください。

問い合わせ先

幹事取扱代理店

株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F

TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700

受付時間 平日/午前9時から午後5時まで

Mailでの受付を始めました。

njkyousai@nichizei.com (受付時間:24時間365日)

引受保険会社



損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161

受付時間 平日/午前9時から午後5時まで

SJ24-01081 (2024/04/24)



獣医師の誓いー95年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任をもっている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は、次のことを誓う。

- 1 動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。
- 2 ヒューマン・アニマル・ボンド人と動物の絆を確立するとともに、平和な社会の発展と環境の保全に努める。
- 3 良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門職としてふさわしい言動を心がける。
- 4 獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、関連科学との交流を推進する。
- 5 相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の獣医界の発展に努める。

茨城県獣医師会会訓

- 1 茨城県獣医師会は、会員の団結と和を基本理念とする伝承を継承して、秩序ある運営をはかり堅実な事業の発展を期する。
- 2 茨城県獣医師会は、動物愛護を通じて社会貢献につとめ、同業相互協力の精神を保持する。
- 3 茨城県獣医師会会員は、最新学術の研修につとめ、獣医師の誇りと品格を高揚する。

茨城県獣医師会会報 第102号 目次

<会務報告>

第27回定時総会の開催結果について	3
-------------------------	---

<行政機関情報等>

獣医師法第22条の届出について	7
高病原性鳥インフルエンザに係る野鳥監視重点区域の 県内への指定時における傷病鳥獣の取扱い等について	10
献血・骨髄バンクのドナー登録にご協力ください	12

<学術研究>

猫の耳の疾患を深掘りする	福井 祐一	13
敗血症として全部廃棄の措置を執った牛から分離された <i>Clostridium sporogenes</i>	中田 水葵	15

<学会報告>

令和6年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会	18
令和6年度獣医学術関東・東京合同地区学会演題	21

<関係団体等>

家畜防疫互助基金支援事業について	茨城県畜産協会	29
農業共済・収入保険の加入者に 「環境負荷低減のチェックシート」の提出を依頼	茨城県農業共済組合連合会	31

<随筆・随想等>

動物病院の人材紹介に思うこと	千 装 勉	33
東南アジア1人旅の体験から思うこと	小 高 哲 明	35
動物園の記録を残す ～Zoo Science Journal (ZSH動物園学紀要)の創刊～	川 瀬 啓 祐	37
ゴマファザラシ「いずみ」	十 亀 咲 子	39
Buen camino! - スペイン巡礼の旅 870kmを歩いて -	鈴 木 睦 夫	41

<本会報告>

令和6年度動物愛護表彰式報告	56
令和6年度関東・東京合同地区獣医師会親善チャリティーゴルフコンペ	59

<編集後記>	70
--------------	----

第27回定時総会の開催結果について

第27回定時総会を令和6年6月28日（金）に「ホテルレイクビュー水戸」において開催した。
開催結果の概要は以下のとおり。

日 時：令和6年6月28日（金）10時～12時まで

場 所：ホテルレイクビュー水戸（水戸市宮町1-6-1）

【議事経過】

- 1 開会の辞 田 上 宣 文 副会長
- 2 物故会員に対する黙祷
- 3 会長挨拶 宇佐美 晃 会長
- 4 表 彰 会長から感謝状と記念品を授与
 - （1）令和5年度狂犬病予防業務功労者表彰・・・3名
 - 小松崎 雅 雄（第6支部）
 - 平 泉 誠（第7支部）
 - 山 室 司（第10支部）
 - （2）令和5年度学術功労者表彰・・・2名
 - 藤 井 勇 紀（農林水産部支部）
 - 令和5年度獣医学術関東・東京合同地区学会日本産業動物獣医学会地区学会賞受賞
上 野 恵（保健福祉部支部）
 - 令和5年度獣医学術関東・東京合同地区学会日本獣医公衆衛生学会学術奨励賞受賞
- 5 来賓祝辞並びに来賓紹介
- 6 議長選出 定款第16条により出席した正会員の中から選出
 - 議 長 中 島 和 則（第9支部）
 - 副 議 長 櫻 井 さつき（勤務退職者支部）
- 7 議事録署名人 定款第20条第2項により出席理事（19名）が記名押印
- 8 書記任命 中 野 真紀子（事務局）
- 9 議 事 後記のとおり
- 10 閉会の辞 佐 野 元 彦 副会長

◆挨拶及び来賓紹介

【宇佐美 晃 会長挨拶（内容省略）】

【来賓3名から祝辞（内容省略）】

- 棚 井 幸 雄 様 茨城県農林水産部次長（茨城県知事挨拶代読）
- 長谷川 重 幸 様 茨城県議会議員 営業戦略農林水産委員会委員長
- 栗 本 まさ子 様 公益社団法人日本獣医師会副会長





棚井幸雄茨城県農林水産部次長



長谷川重幸茨城県議会議員



栗本まさ子日本獣医師会副会長

【来賓紹介】

細 田 哲 司 様	茨城県農業共済組合連合会会長理事
砂 押 道 大 様	茨城県保健医療部理事兼次長兼医療局長
深 澤 敏 幸 様	茨城県県民生活環境部環境政策課長
仁 藤 健 二 様	茨城県保健医療部生活衛生課長
大 谷 芳 子 様	茨城県農林水産部畜産課家畜衛生対策室長
星 野 健一郎 様	公益社団法人畜産協会事務局長

【祝電披露】

◆議 事

【充足数報告】

総正会員数571名、うち本人出席と委任状提出者の合計出席会員数は443名で過半数以上に達しており、本総会が成立する旨議長より告げられた。

【総会提出議案】

I 報告事項

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度に係る事業報告の件

1 動物愛護に関する公益事業

(1) 人獣共通感染症対策事業

狂犬病予防注射事業

定期集合注射実施頭数	24,610頭	} 合計 100,425頭
個別注射実施頭数	75,815頭	
門標作成配布枚数	150,000枚	
盲導犬注射費用助成頭数	8頭	

(2) 動物愛護事業

ア ペット繁殖防止助成事業

県内飼育犬猫等を対象に避妊及び去勢手術の助成実施

項 目		助成頭数
避 妊	犬	134頭
	猫	479頭
去 勢	犬	138頭
	猫	387頭
計		1,138頭

イ 動物愛護啓発活動

- ・ ペット無料相談やしつけ方教室は新型コロナウイルス感染症の影響により計画の一部実施にとどまった。
- ・ マイクロチップ埋め込み費用と登録費用助成

埋め込み助成（合計 1,045頭）

会員動物病院実施分	犬	240頭	猫	805頭
-----------	---	------	---	------

登録助成（合計 1,046頭）

動物指導センター	犬	2頭	猫	0頭
----------	---	----	---	----

会員動物病院実施分	犬	240頭	猫	804頭
-----------	---	------	---	------

ウ 教育現場への支援

- ・ 学校の動物愛護教育の相談事業として「動物ふれあい教室」への支援

エ 災害時対応

- ・ 茨城県と「災害時における愛玩動物救護活動に関する協定書」を平成25年3月に締結した。
- ・ 協定書に基づく防災訓練については、新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止のため開催されなかった。

（3）研修・学術事業

関東地区獣医学会参加、獣医技術の調査・研修及び会報2回発行

令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会を埼玉県獣医師会が担当で開催した。

日時 平成5年9月3日（日）10時から17時まで

場所 ソニックシティ（埼玉県さいたま市）

主催 公益社団法人 埼玉県獣医師会

2 茨城県からの受託事業

（1）飼育動物の保健衛生及び公衆衛生に関する事業

ア と畜検査補助事業……県内8か所 検査総数 1,114,236頭

イ 食品に残留する動物用医薬品等検査補助事業……県西食肉衛生検査所

（2）動物感染症対策の検査及び相談助言事業

ア 死亡牛牛海綿状脳症等検査補助事業……県北家畜保健衛生所

イ 獣医療提供体制整備事業

（3）野生動物の保護に関する相談助言事業

傷病野生鳥獣救護事業……17名 106件

（4）動物愛護に関する相談助言事業

負傷動物応急救護事業……犬猫 128頭

3 福利厚生事業

（1）指定獣医師共済基金の運営

（2）会員の親睦推進

（3）会員等の表彰

4 収益事業

笠間ペット霊園の不動産を事業者に賃貸

Ⅱ 決議事項・・・各議案は原案どおり承認可決された

第1号議案 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度に係る貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録承認の件

(1) 貸借対照表

資産合計	289,504,598円
負債合計	128,011,874円
正味財産合計	161,492,724円

(2) 正味財産増減計算書

ア 一般正味財産増減の部

(ア) 経常増減の部

経常収益計	330,519,550円
経常費用計	332,217,524円

(イ) 経常外増減の部

経常外費用計	0円
当期一般正味財産増減額	-1,697,974円
一般正味財産期首残高	163,190,698円
一般正味財産期末残高	161,492,724円

イ 指定正味財産期末残高 0円

ウ 正味財産期末残高 161,492,724円

▼ 監査報告

監事4名を代表して河嶋敏察監事より、定款45条に基づき会長から提出された書類等を監査したところ、その内容は適正であった旨の報告があった。

ご存知ですか？『Sマーク』



安全 (Safety)
安心 (Standard)
清潔 (Sanitation)

信頼の理容・美容・クリーニング—飲食店に与えられる目印です

(公財)茨城県生活衛生営業指導センター
TEL. 029-225-6603



当店は安心です

Sマークのある「理容・美容・クリーニング—めん類飲食店—」飲食店は、
S safety 安全であること S sanitation 清潔であること S standard 安心であること
3つのSを約束します。

11月には、Sマーク標準営業規範が改定されました。

私たちはSマークのお店です。

獣医師法第22条の届出について

茨城県農林水産部畜産課
家畜衛生対策室

獣医師免許を有する方は、獣医事への従事にかかわらず獣医師法第22条の規定に基づき、2年ごとに農林水産大臣への届出が義務付けられています。届出は従来の紙による申請のほか、オンラインでの申請が可能です。オンライン申請の詳細につきましては8ページ以降の〈参考〉を参照願います。

本年は、届出を行う年になっておりますので、獣医師免許を有する方は期限までに届出されるようお願いいたします。

※ 届出を届出期限内に行わなかった場合、獣医師法第8条第2項第3号により業務の停止が命じられることや、免許が取り消されてしまうことがあります。そのため、第22条の届出について必ず届出期限内（今回の届出については令和7年1月31日となっております）に申請するようお願いいたします。

◇ **届出内容：**令和6年12月31日時点における氏名、住所など

◇ **届出様式：**獣医師会会員の皆様には（公社）茨城県獣医師会から様式が送付されます。会員外の方は、下記のリンク先からダウンロードして下さい。

◇ **届 出 先：****（1）紙の場合**

住所地（勤務地ではありません）を管轄する家畜保健衛生所に2部郵送、またはご持参下さい（持参受付時間：平日 午前8時30分から午後5時15分）。

（2）オンラインの場合

農林水産省共通申請サービス（eMAFF）による電子申請の方法については、農林水産省のホームページを参照するほか、8ページ以降の〈参考〉を参照して下さい。

農林水産省『農林水産省共通申請サービス（eMAFF）』

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emmaff.html>



◇ **届出期限：**令和7年1月31日（金）

◇ **そ の 他：**様式及び届出の作成にあたっては、農林水産省もしくは県畜産課のホームページを参照して下さい。

農林水産省『獣医師免許をお持ちの皆様へ（獣医師法第22条の届出）』

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/22.html>



茨城県畜産課『獣医師法第22条の届出について』

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/chikusan/kachiku/jyui22/jyui22jo.html>



お問い合わせは下記の各家畜保健衛生所へお願いします。

家畜保健衛生所名	所在地	電話番号
県北家畜保健衛生所	水戸市中河内町966-1	029-225-3241
鹿行家畜保健衛生所	鉾田市鉾田1367-3	0291-33-6131
県南家畜保健衛生所	土浦市真鍋5-17-26	029-822-8518
県西家畜保健衛生所	筑西市新井新田42-4	0296-52-0345

管轄市町村

県北：水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

〈参考〉

農林水産省共通申請サービス（eMAFF）申請の流れについて



1. ID取得申請手続き

届出をeMAFFを利用して届出をする場合はIDの取得が必要です。

IDはデジタル庁の「gBizIDプライム」または農林水産省の「eMAFFプライム」どちらかで取得することによってeMAFFでのオンライン申請が可能となります。

- ※gBizIDプライム：eMAFF及びその他の行政サービスの各機能が利用可能
アカウント取得のための本人確認には、申請書と印鑑登録証明書の郵送が必要です。
- ※eMAFFプライム：eMAFF内の各機能が利用可能
アカウント取得のための本人確認には、スマートフォンによるマイナンバーカードの読み取り、送信で行うことが可能です。
マイナンバーを使用しない場合、証明書等の掲示・提出による対面での審査が必要となります。

(1) 「gBizIDプライム」取得方法

デジタル庁『G BizID クイックマニュアル gBizID プライム編 ver2.1』

https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime.pdf



(2) 「eMAFFプライム」取得方法

農林水産省畜水産安全管理課『薬機法関連手続きの共通申請サービス（eMAFF）のマニュアル・eMAFFプライムの作成方法』

https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/attach/pdf/eMAFF_yakuzi-1.pdf



2. オンライン申請

農林水産省畜水産安全管理課『eMAFF（農林水産省共通申請サービス）獣医師法第22条の届出届出画面の探し方 申請者用eMAFF操作マニュアルの探し方』

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/attach/pdf/22-20.pdf>



3. 完了

高病原性鳥インフルエンザに係る野鳥監視重点区域の 県内への指定時における傷病鳥獣の取扱い等について

茨城県県民生活環境部環境政策課

1 国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

高病原性鳥インフルエンザは、家畜伝染病予防法の対象疾病のひとつで、環境省では、野鳥で本ウィルスの感染が確認された場合を「野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生」としています。

国内の野鳥、家さん及び飼養鳥等においては、平成16年（2004年）から断続的に感染が確認されており、直近の令和5年（2023年）シーズンでは、全国で述べ169件の高病原性鳥インフルエンザウイルス陽性の確認事例があり、本県においては、延べ2件の発生が確認されました。

<参考1> 令和5年シーズンにおける発生状況（国内）

	確認件数	確認都道府県（※発生順（カッコ内は当該都道府県での確認件数））
野 鳥	156件	28都道府県 北海道（74）、宮城県（4）、鹿児島県（22）、岡山県（2）、千葉県（2）、鳥取県（2）、香川県（1）、高知県（2）、富山県（1）、東京都（1）、佐賀県（2）、新潟県（2）、宮崎県（1）、岐阜県（1）、熊本県（3）、 <u>茨城県（1）</u> 、滋賀県（1）、長崎県（1）、福岡県（1）、青森県（1）、大阪府（7）、神奈川県（1）、群馬県（1）、岩手県（15）、石川県（2）、愛知県（1）、広島県（3）、栃木県（1）
家さん	11件	10県 佐賀県（1）、 <u>茨城県（1）</u> 、埼玉県（1）、鹿児島県（2）、群馬県（1）、岐阜県（1）、山口県（1）、香川県（1）、広島県（1）、千葉県（1）
飼養鳥	2件	2県 岐阜県（1）、兵庫県（1）

<参考2> 令和5年シーズンにおける発生状況（茨城県）

	確認件数	確認市町村（※発生順（カッコ内は当該市町村での確認件数））
野 鳥	1件	1市 那珂市（1）
家さん	1件	1市 笠間市（1）

感染拡大の防止のため、死亡野鳥の早期発見や感染範囲の把握等を目的としたサーベイランスが実施されており、国内で高病原性鳥インフルエンザが発生した場合には、環境省により陽性個体の回収地点から半径10km以内を野鳥監視重点区域として指定され、大量死や異常の有無の確認など監視強化を図ることとなります。

2 野鳥監視重点区域指定時における傷病鳥獣の取扱い

環境省により、県内に野鳥監視重点区域が指定された場合（近隣県に野鳥監視重点区域が指定され、これに本県の地域が含まれた場合も同様）は、県獣医師会の皆様の御協力のもとに実施している傷病鳥獣救護事業を、県内全域において、以下のとおり取り扱うことといたします。

（１）救護対象種について

種の保存法に基づく国内希少野生動植物種及び本県レッドデータブック掲載種は、種の存続に関して将来的に貢献する可能性が高いことから救護の対象とします。

それ以外の傷病鳥獣については、高病原性鳥インフルエンザの蔓延リスク等を鑑み、原則として救護対象としません。

（２）救護の条件について

救護対象種については、原則として管轄の家畜保健衛生所において簡易検査を実施し、「陰性」が判明したものに限り、県指定動物病院へ搬送することとします。

3 死亡野鳥等調査の実施

茨城県では、傷病鳥の救護に並行して、年間を通じて死亡野鳥等調査（ウイルス保有状況調査）を実施しています。

本調査の対象は、一般の方々により発見され、県や市町村などへ通報のあった死亡野鳥のうち、感染リスクが高いと環境省が定める種（検査優先種）となります（ただし、死因が外傷による可能性が高いものを除く）。

こちらの対象範囲は、国内での高病原性ウイルスの感染確認状況に基づいて環境省が設定する対応レベルに応じて変更（レベルが上がると調査対象が増加）されます。

今後とも、高病原性鳥インフルエンザの感染予防及び感染拡大の防止を図っていくうえでは、本調査の重要性も高まっているとされております。円滑で適切な実施のためにも、県獣医師会の皆様におかれましては、本調査の趣旨を御理解いただきますとともに、死亡野鳥を発見された際には、県の担当窓口への通報に御協力を賜りますようお願いいたします。

※県の担当窓口は、傷病鳥獣救護事業と同様、各県民センター環境・保安課及び環境政策課県央環境保全室となります。

県の担当窓口（受付時間：平日の８時３０分から１７時１５分）

地区	担当窓口	所在地	電話番号
県北	県北県民センター環境・保安課	常陸太田市山下町4119	0294-80-3355
鹿行	鹿行県民センター環境・保安課	鉾田市鉾田1367-3	0291-33-6057
県南	県南県民センター環境・保安課	土浦市真鍋5-17-26	029-822-8364
県西	県西県民センター環境・保安課	筑西市二木成615	0296-24-9127
県央	環境政策課県央環境保全室	水戸市笠原町978-6	029-301-3047

献血・骨髄バンクのドナー登録にご協力ください

茨城県保健医療部医療局薬務課

- 献血へのご協力を考えていただく際、順番待ちが気になったり、服用中の薬があることで悩んでしまったりしませんか。

献血の実施主体である日本赤十字社が提供しているサービスについてご紹介します。

／ 順番待ちを短くしたい方へ ／

献血の予約サービス、あります。

各献血会場では、以下の方法で事前予約ができます。

【献血バス会場】Web予約

【献血ルーム】Web予約・電話予約

～Web会員サービスの登録がおすすめです～

日本赤十字社Web会員サービス「ラブブラッド」では、献血予約のほか、血液の検査結果や次回献血可能日の確認、ポイントによる記念品、会員限定キャンペーンなどさまざまなサービスが用意されています。



←予約方法の詳細は、茨城県赤十字血液センターのホームページで確認できます。

／ 服用中の薬があり、献血できるか気になる方へ ／

献血基準に関するチャットボットが お答えします。

治療薬や予防接種、既往歴の献血基準を調べることができます。

【ご利用時の注意点】

必ずしも献血の可否を決定するものではありません。
献血にご協力いただく際は、チャットボットでお問い合わせいただいた内容を、必ず問診用の質問事項にご回答のうえ、献血会場の医師にお申し出ください。



←チャットボットはこちら

引き続き、継続的な献血へのご理解・ご協力をお願いいたします。

- 白血病などの血液疾患のため、「骨髄移植」等の治療を必要としている患者さんが毎年全国で2千人近くいらっしゃいます。一人でも多くの患者さんを救うためには、一人でも多くの方のドナー登録が必要です。

登録は 18歳から54歳までの健康な方が対象ですが、若い方の登録者が少ないのが実情です。

骨髄バンクの活動について、みなさまのご理解とご協力をお待ちしています。

骨髄ドナー登録会場はこちら

1 献血ルーム（県内2か所）

- ・水戸献血ルームMEET 水戸市宮町1-7-31
水戸駅ビルエクセルみなみ6階
- ・つくば献血ルーム つくば市吾妻1-7-1
トナリエつくばスクエアCREO4階

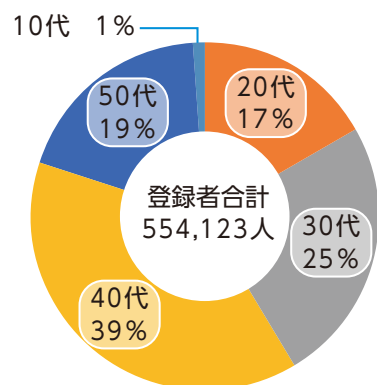
2 献血併行型ドナー登録会（献血バスでの登録）



献血バスでは定期的に骨髄バンク登録会を開催しており、ドナー登録することができます。

← スケジュールは茨城県薬務課のホームページをご覧ください。

骨髄ドナー登録者の世代別割合 （2024年3月末現在）



←ドナーの方をサポートする仕組みについては、（公財）日本骨髄バンクのホームページをご覧ください。

猫の耳の疾患を深掘りする

第7支部 福 井 祐 一

1 はじめに

前号では猫のアレルギー性皮膚炎について紹介しましたが、犬のアレルギー性皮膚炎で外耳炎が併発することの多いですが猫のアレルギー性皮膚炎で外耳炎が併発することは稀です。また犬の外耳炎については日常的に遭遇する疾患ですので成書やセミナーで取り上げられることも多く、近年ではPSPP分類（主因・副因・増悪因・素因に分けて考える方法）を用いることで診断治療が体系化されましたが、猫の耳の疾患は日常の診療では遭遇する機会は少なく、成書やセミナーで紹介される機会もあまりありません。使い古されたフレーズですが、「猫は小さな犬ではない」ので、犬の外耳炎の治療を猫に適応してもうまくいかない場合が多いです。今回は猫の耳の疾患について深掘りしようと思います。

2 今年の関東・東京合同地区学会（三学会）の発表について

9月1日に群馬県高崎市のGメッセ群馬にて開催された関東・東京三学会で、私は猫の中耳炎について発表しましたが（本号の26ページに抄録が掲載されていますのでご参照ください）、私以外に2題も猫の耳の疾患についての発表があり、にわかに猫の耳の疾患が注目されているように感じました。私は以前から猫の耳の疾患には興味があり、昨年の上大会では猫の中耳ポリープについて発表しました。犬に比べて猫の耳は細くて小さいので、診断治療の精度を高めるべく耳用内視鏡（ビデオオトスコープ、以下VOS）もカール・ストルツ製の高画質で細径の硬性鏡を昨年導入しました。耳の中の詳細な観察だけでなく鉗子や半導体レーザーを用いた処置も内視鏡下でできるようになりましたので、犬や猫の耳の疾患でお困りのことがあればお気軽にご相談ください。

話は今年の上大会に戻りますが、私の発表の2題前に横浜のDVMsどうぶつ医療センター皮膚科の柴田久美子先生が猫の耳について素晴らしい発表をされていたので、そちらを紹介しながら猫の耳の疾患を概説します。

3 柴田先生の講演要旨

2012年からの12年間に耳の疾患を主訴にDVMsどうぶつ医療センター皮膚科を受診した猫54例（年齢：2か月～19歳、雄29雌25、片側性37両側性17）の回顧的報告で、品種は雑種猫が22例と最も多く、純血種ではアメリカン・カールとその交雑種が10例、マンチカン6例、スコティッシュ・フォールド5例と、軟骨に先天性異常をもつ品種にトラブルが多く、これらの多くで外耳道の狭窄を認めたとのことでした。またVOSを用いた外耳道壁の観察では40例には明らかな異常は見られなかったとのことでした。さらに精査を実施した50例のうち、中耳ポリープ15例、過剰な耳垢蓄積11例、原発性中耳炎10例、耳垢腺嚢腫5例、悪性腫瘍5例、医原性外傷2例、耳介軟骨症1例、耳垢腺腫1例という内訳でした。

以上のデータから、猫の耳の疾患の約半数は中耳が原発であり、他は先天的な狭窄や後天的な耳垢腺嚢腫や腫瘍が原因といえます。外耳道壁の炎症は少ないことから、犬で汎用される抗菌剤＋ステロイド合剤の点耳薬の効果は限定的と考えるべきとの考察でした。

4 猫の代表的な耳の疾患① 中耳ポリープ

猫の中耳ポリープは、中耳炎が原因で中耳内の粘膜上皮から発生した有茎状の非腫瘍性病変が鼓膜を穿

孔して水平耳道に到達することで生じると考えられていて、耳漏を伴う難治性の外耳炎を引き起こします。片側性で難治性の耳漏の猫の耳道内をVOSで観察すると、赤くて丸いポリープが鼓膜のある位置に確認できます。治療は、かつては腹側鼓室胞切開術によるポリープ摘出が一般的でしたが、現在ではVOSでポリペクトミースネア鉗子を用いた牽引除去術が侵襲性の少ない方法として実施可能です。私はこれまで十数例VOSでの牽引除去術を行っていますが、予後は比較的良好です。昨年の三学会ではコロナ禍に来院した中耳ポリープ8症例をまとめて発表しましたが、中耳ポリープは1歳未満での発症がほとんどで、早期に診断してステロイドの内服および外用療法と定期的な洗浄を行うことでポリープが退縮した症例が2例いました。一方、長期にわたり抗菌剤療法が実施された結果、多剤耐性菌の感染を認めたケースも多かったことから、2週間程度の抗菌剤治療を実施しても耳漏が改善しない場合はやみくもに抗菌剤治療を継続せずに必ず中耳ポリープを疑って立ち止まってください。

5 猫の代表的な耳の疾患② 中耳炎

耳漏が出ているけどポリープが見つからない場合には中耳炎を疑います。鼓膜に小さな穴が開いていて、そこから中耳内容物が少しずつ漏れ出していることがあります。この場合は鼓膜を穿刺して中耳内容物を洗い出す必要があります。また耳の違和感や斜頸・眼振といった前庭症状を示していて、外耳道は異常ないですが鼓膜が充血や白濁している場合も、中耳炎で中耳内に粘液が貯留している場合があります。治療は同様に鼓膜穿刺と中耳洗浄です。抗菌剤やステロイドによる内科的な治療のみでも治癒する場合がありますが多くは再発します。抗菌剤も中耳内容物の細菌培養検査を実施して感受性のあるものを選択すべきです。

中耳炎はCTやMRIで鼓室胞内の貯留物を確認することで診断しますが、無麻酔VOSと単純レントゲン検査でもある程度異常が確認できます。治療成績はVOSでの鼓膜穿刺と中耳洗浄での寛解率は6～7割で、鼓室胞内にある骨の壁である鼓室胞中隔の存在で中耳洗浄が不十分だった場合に再発すると考えられています。腹側鼓室胞切開術によって鼓室胞中隔も除去して洗浄するか、VOS下での鼓室胞中隔開窓術を実施することで、再発率が軽減できるのではないかと考えられます。

6 猫の代表的な耳の疾患③ 耳垢腺嚢胞と増殖性壊死性外耳道炎

どちらも猫特有の耳の疾患で、耳垢腺嚢胞は中高齢の猫の耳道入口～垂直耳道に黒いブツブツとした結節が多数できて耳道が狭窄します。この疾患は外用ステロイドが奏功しますので、ウェルメイトL3（明治アニマルヘルス株式会社）やオスルニア（物産アニマルヘルス株式会社）といった犬用の抗菌剤＋ステロイド合剤の点耳での治療が報告されています。一方の増殖性壊死性外耳道炎は若齢猫の耳道入口～垂直耳道の痂皮とびらんを生じる稀な疾患で、こちらはタクロリムス軟膏（「プロトピック軟膏0.1%」、マルホ株式会社）の外用の有効性が報告されています。先日の三学会ではオリブ油と0.1%タクロリムス軟膏を1：1で混和して外耳に塗布して治療した1例報告が発表されていました。

7 おわりに

今回は猫の耳の疾患について深掘りしましたが、猫の外耳炎の最も多い原因はミミヒゼンダニ寄生ですので難しい疾患を考える前に必ず駆虫薬を投与して除外診断しましょう。また耳介の疾患で多いのは、皮膚糸状菌症や蚊のアレルギー、疥癬、日光皮膚炎などがあります。

そういった「よくある疾患」を除外しても改善がないようなら、今回紹介した疾患の可能性を考えて、VOS治療を行なっている耳科が得意な施設に紹介することをお勧めします。

敗血症として全部廃棄の措置を執った牛から分離された *Clostridium sporogenes*

県西食肉衛生検査所 ○中田水葵 長沼悠美¹⁾ 上田智子 飯田剛士²⁾ 沼尻将峰

1) 県南食肉衛生検査所 2) 古河保健所

1 はじめに

Clostridium 属菌は、グラム陽性嫌気性有芽胞桿菌で、牛に破傷風、気腫疽、悪性水腫等の致死的な疾病を引き起こす。またヒトでも *Clostridium* 属菌の感染によって重篤な症状を呈する場合があるため、畜産分野のみならず人獣共通感染症の観点からも重要な菌である。

届出伝染病である牛の気腫疽に限れば、当所管内では過去15年間に届出はなく、日常のと畜検査において *Clostridium* 属菌による感染症に遭遇する機会はほとんどない。しかし今般、当所管内のと畜場においてと畜検査を実施した際に、現場で敗血症として全部廃棄の判断措置を執った牛について、病変が特徴的であったため、検体を採材し、精密検査を実施した結果 *Clostridium sporogenes* が検出されたので、その概要を報告する。

2 材料及び方法

(1) 材料

令和5年10月に管内Aと畜場に健康畜として搬入されたホルスタイン種の牛（雌、42ヶ月齢）で、生体検査において異常は認められなかったが、解体後検査において腎臓、子宮及び頸部、肺門、腎門、腸間膜、内腸骨の各リンパ節、全身の筋肉に出血が認められた。子宮及び腎門リンパ節は腫脹し、内部に海綿状の構造及び圧迫による血様浸出液が認められた。またと畜検査翌日には枝肉に酪酸臭が認められた。これらのうち、筋肉、腎臓、腎門リンパ節の各病変部を検体として用いた。

(2) 塗抹鏡検

腎門リンパ節病変部から直接塗抹標本を作製し、グラム染色像の観察を行った。

(3) 分離培養

筋肉及び腎臓の病変部を、バイタルメディア血液寒天培地（ウマ）（極東製薬工業，東京）及びアキュレート ABHK 寒天培地（島津ダイアグノスティクス，東京）に接種した。前者は好気条件下で、後者は嫌気条件下で、各々36℃、24時間培養した後、コロニーの形状及びグラム染色像の観察を行った。

(4) 生化学的性状試験

ABHK 寒天培地上のコロニーを釣菌してカタラーゼ試験を実施した。またコロニーから菌液を調整し、嫌気性菌生化学的同定キットであるラピッドID32A アピ（シスメックス・バイオメリュー，東京）を用いて、好気条件下で36℃、4～4.5時間培養した。培養後、APIWEB® 同定ソフトウェアを用いて分離菌の同定を行った。

(5) 遺伝子検査

分離菌について16S rRNA 領域の遺伝子のダイレクトシーケンスを行った。

ABHK 寒天培地上のコロニーより SimplePrep reagent for DNA（タカラバイオ，滋賀）を用いて DNA を抽出した後、Bacterial 16S rDNA PCR Kit Fast (800)（タカラバイオ，滋賀）を用いて 16S rDNA 領域を増幅した。PCR 条件は94℃ 5秒、55℃ 1秒、68℃ 4秒を1サイクルとし、25サ

イクル実施した。シーケンス解析は、タカラバイオ受託サービス「プレミックスシーケンス解析」に委託し、解析ソフト（MEGA11）を用いた両鎖解析により、DNA増幅産物の塩基配列（1243bp）を決定した。得られた塩基配列情報についてデータベース上の相同性検索（BLAST検索）を行った。

3 結果

（1）塗抹鏡検及び分離培養

塗抹鏡検の結果、グラム染色像はグラム陽性の桿菌であり、内部に偏在性の芽胞を認めた（図1）。また分離培養の結果、嫌気条件下で培養したABHK寒天培地上に、中心部が白色でやや隆起した、周縁が根足状のコロニーを認めた（図2）。このグラム染色像は、塗抹鏡検で認められたものと同様、グラム陽性の桿菌であり、内部に偏在性の芽胞を認めた（図3）。一方、好気条件下で培養した血液寒天培地においては、前述のコロニーは認められなかった。



図1

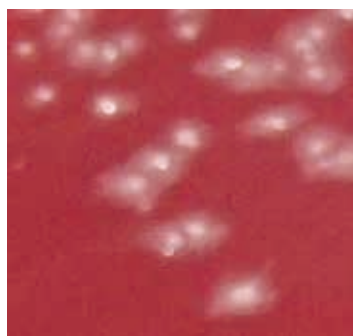


図2

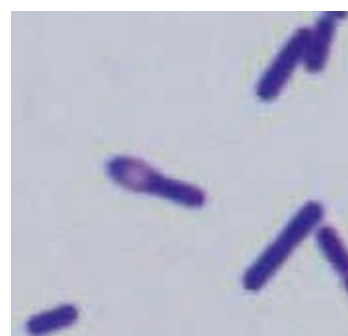


図3

図1 腎門リンパ節の直接塗抹標本（グラム染色）

図2 腎臓より分離培養した菌のコロニー

図3 図2のコロニーのグラム染色像

（2）生化学的性状試験

カタラーゼ試験の結果、被検菌はカタラーゼ陰性であることが確認できた。続いてラピッドID32Aアピによる試験を実施した結果、被検菌は*Clostridium sporogenes* であると同定された。同定確率は94.3%、T値は0.92であり、使用したキットの同定精度（4段階）の中で2番目に良い精度（VERY GOOD IDENTIFICATION）であった。また、病原性の高い菌種であるとの注釈が示された。

（3）遺伝子検査

シーケンス解析の結果、得られた塩基配列情報についてBLAST検索を行ったところ、*Clostridium sporogenes* の16SrRNAの塩基配列と100%（673/673）一致し、被検菌は*Clostridium sporogenes* であると同定された。

4 考察

今回分離された菌は、生化学的性状試験及び遺伝子検査の結果から*Clostridium sporogenes* と同定された。

Clostridium sporogenes は、気腫疽の原因菌(*Clostridium chauvoei*)や悪性水腫の原因菌(*Clostridium septicum*, *Clostridium novyi*, *Clostridium perfringens*, *Clostridium sordellii*等)とあわせてガス壊疽菌群と呼ばれ、主な原因菌である*Clostridium perfringens*と混合感染することで、ウシ、ヒツジ、

ヤギ、ウマ、ブタ、ヒトに筋組織の浮腫、壊死、ガス産生、全身性中毒症候を主徴としたガス壊疽を発症させる [1]。

ガス壊疽は混合感染によって起こることが一般的である [2] が、今回の検体からは *Clostridium perfringens* や他のガス壊疽菌は分離されず、*Clostridium sporogenes* のみが分離された。また、当該牛には気腫疽もしくは悪性水腫と類似した、骨格筋病変の酪酸臭、筋組織の暗赤黒色変性、血様滲出液、全身性の出血 [3] といった所見が認められた。これらにより、*Clostridium sporogenes* の単独感染によって、牛がガス壊疽疾患様の所見を呈する可能性が示唆された。

今後は、本事例を所内で共有し、と畜検査の現場判断や精密検査の診断に役立てていきたい。またガス壊疽は人獣共通感染症であり、分離された *Clostridium sporogenes* は病原性の高い菌種であることが示されたため、解体作業員及びと畜検査員の創傷感染に対する注意喚起も行っていきたい。

参考文献

- [1] 鹿江雅光，新城敏晴，高橋英司，田淵清，原澤亮編：最新家畜微生物学，訂正版，199，朝倉書店，東京（2002）
- [2] 東匡伸，小熊恵二編集：シンプル微生物学，改訂第3版，192，南江堂，東京（2003）
- [3] 農林水産省消費・安全局長通知：病性鑑定指針，83，125，平成27年3月13日付26消安第4686号

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

茨城支店 水戸第一支社
〒310-0803
茨城県水戸市城南 3-11-14
☎029-224-2402



【取扱代理店】

あいおいニッセイ同和インシュアランスサービス株式会社 水戸支店
〒310-0803 茨城県水戸市城南 3-10-17 カーニープレイス水戸9F
☎029-226-3638

令和6年度獣医学術関東・東京合同地区学会本会会員発表演題一覧

【日本産業動物獣医学会】

演者氏名	演 題	所 属
石 塚 駿	非定型豚ペスチウイルス（APPV）が関与した先天性振戦の発生事例	茨城県農林水産部畜産課
北 島 ちひろ	大規模農場における高病原性鳥インフルエンザ発生後の衛生管理強化の取り組み	茨城県県北家畜保健衛生所
前 澤 誠 希	黒毛和種子牛にみられた兩大血管左室起始症の1症例	東京大学
帆 足 遥	骨盤腔内に巨大な腫瘤形成を認めた牛伝染性リンパ腫の1症例	東京大学

【日本小動物獣医学会】

演者氏名	演 題	所 属
川 西 航太郎	胸腔鏡下において胸腺腫を摘出した犬の1例	動物病院ハートランド
福 井 祐 一	猫の中耳炎6例の治療成績	こまち動物病院

【日本公衆衛生獣医学会】

演者氏名	演 題	所 属
大 澤 修 一	茨城県内の植生マダニ種および紅斑熱群リケッチア保有状況について	茨城県衛生研究所
江 連 虎 勇	茨城県動物指導センターの現状と課題について	茨城県県西食肉衛生検査所

令和6年度獣医学術関東・東京合同地区学会演題

日本産業動物獣医学会

非定型豚ペスチウイルス (APPV) が関与した先天性振戦の発生事例

○石塚駿
茨城県畜産課

I. はじめに

先天性振戦 (CT) は、日本では古くからダンス病として知られている疾病で、新生豚における頭部と体幹の震えなどの臨床症状を示す疾病であり、原因に関しては遺伝性疾患、中毒、ウイルスなど様々な仮説が提唱されてきた。2015年に米国でCTを呈する豚から次世代シーケンサーにより非定型豚ペスチウイルス (APPV) が初めて検出され、その後2016年には同国で実施された実験的感染試験によってAPPVがCTに関連することが実証された。今回、県内養豚場のCT事例について、国内で初めてAPPVが関与したCTと診断したので、その概要を報告する。

II. 発生経緯

母豚200頭を飼養する一貫経営農場で2022年10月22日以降、外部導入した繁殖雌豚5頭それぞれの産子が振戦および下痢を呈し、一部が死亡する事象が続いた。同農場の経産豚では正常分娩が続いていたが、11月17日に分娩した経産豚の産子全頭が振戦を呈し、半数が死亡した。経産豚産子での初発であったこと、振戦を呈する子豚が増加したことから、農場より連絡を受けた管轄家保が立入検査し、振戦を呈した生体3頭の病性鑑定を実施した。

III. 材料および方法

病理解剖により採取した検体について、血液学的検査、ウイルス学的検査、細菌学的検査、病理組織学的検査を実施した。

IV. 成績

病理解剖では腎臓の点状出血を確認した。APPV-5' UTR領域約130bpを標的としたRT-PCRでは扁桃、腎臓、脾臓、大脳、脊髄、血清で陽性が確認された。PCR産物からシーケンスで得られた塩基配列をBLAST検索した結果、2021年沖縄県の株と98%の相同性を確認した。病理組織学的検査では、ヘマトキシリン・エオジン染色で小脳髄質全域にわたる多発性の空胞変性、ルクソールファストブルー染色で同部位の髄鞘形成不全をそれぞれ確認した。APPVと相補的な塩基配列を持つプローブを用いたin situ hybridizationを実施したところ、小脳の顆粒層を中心に陽性となり、その他、大脳皮質、中脳、脊髄、肺においても陽性を確認した。なお、細菌学的検査では有意菌は検出されなかった。

V. 考察

過去国内にてCTを呈した豚からAPPVがRT-PCRで検出された事例は複数あるが、本事例はRT-PCRのみでなく、病理組織切片上でもAPPVの存在が確認され、国内で初めてAPPVが関与した先天性振戦と診断した。

大規模農場における高病原性鳥インフルエンザ発生後の 衛生管理強化の取り組み

○北島ちひろ¹⁾、齊藤隆夫²⁾

1) 茨城県県北家保 2) 茨城県県南家保

I. はじめに

わが国では高病原性鳥インフルエンザ（以下HPAI）が令和2年度から4年連続発生しており、養鶏産業に甚大な被害を及ぼしている。現在、全国で防疫体制の強化が行われているが、大規模農場においては人や物の出入りする機会が多く、ウイルスの侵入リスクが高くなる可能性があり、全ての関係者について衛生管理の徹底とさらなる強化が課題となっている。そこで、令和4年11月に鳥インフルエンザが発生した大規模養鶏場に対して、飼養衛生管理の強化を実施したので、その概要を報告する。

II. 実施内容

経営再開に向け、施設の修繕や家きん舎毎の長靴交換の徹底等の飼養衛生管理基準事項の改善を指導し、実施を確認した。発生時には農場敷地内に存在する2つの調整池に多数の水鳥が観察されたため、池の水抜き、草木の伐採を実施した。池の出入り口には専用の作業着と靴を設置するよう指導した。

さらにHPAI発生時、死亡鶏が鶏舎天井の入気口直下に集中して認められたことから、入気によってウイルスが鶏舎内に侵入した可能性が考えられた。そこで、令和5年度のHPAIシーズンからは野鳥との接触リスクが高い屋根からの入気を中止し、鶏舎前後壁面の換気扇からの入気のみに変更した。従業員に対しては、経営再開前に衛生管理に関する研修会を開催した。加えて、作業の手順や注意事項等の可視化、掲示を強化した。さらに、外国人従業員に対しては、現地語で記載した掲示物を用意し、積極的な声掛けを行うことで指示内容の理解度の確認を実施した。

III. 結果

農場の環境を見直し、環境を改善することで衛生管理の徹底実施を実現し、池の水抜きと草木の伐採により、野鳥の数は激減した。これらの環境強化により発生から約4か月後には経営再開を果たした。その後も、ウイルスの侵入経路を考慮した入気口の変更や従業員への対応強化を実施したことで、農場全体の衛生環境と意識が向上した。現在まで、当該農場でのHPAIの再発生はなく、飼養羽数も発生前まで回復した。

IV. 考察

飼養衛生管理基準以外の観点からも農場の環境を見直し、改善させることができた。一方で、各対策法にはメリットとデメリットがあるため、それぞれの農場に合わせた継続可能な対応を考える必要がある。

黒毛和種子牛にみられた両大血管左室起始症の1症例

○前澤誠希¹⁾、山川忠祥²⁾、奥山一葉¹⁾、石川健人¹⁾

チェンバーズ ジェームズ¹⁾、内田和幸¹⁾、猪熊 壽¹⁾

1) 東大・東京都/茨城県 2) いばらき広域農業共済組合・茨城県

I. はじめに

両大血管左室起始症 (double-outlet left ventricle: DOLV) は大動脈および肺動脈が左心室より起始する心臓奇形であり、牛での発生報告は極めて少ない。今回、DOLVと診断された牛症例に遭遇したので、その概要を報告する。

II. 症例

症例はホルスタイン種雌子牛で10日齢時に発育不良を主訴に受診した (第1病日)。身体検査にてスリルが触知され、心雑音が聴取された。心奇形を疑ったため、東京大学動物医療センターに精査の依頼があった。第25病日の往診時、症例は削瘦し体格は小さかったが、活力はあり運動不耐性はみられなかった。発咳は認められず、可視粘膜はピンクであった。聴診では右心尖部を最強点とするLevine 6/6の全収縮期雑音が聴取された。心電心音図検査では右から全収縮期雑音および左から拡張期雑音が認められた。心臓超音波検査では心房中隔欠損、心室中隔欠損および右心室内の乱流が認められたが、流出路を評価することはできなかった。血液検査では異常は認められず (RBC: $850 \times 10^4 / \mu\text{L}$ 、WBC: $8,600 / \mu\text{L}$ 、PLT: $101 \times 10^4 / \mu\text{L}$)。血液生化学検査では、AST (40 U/dL)、LDH (635 U/L)、CK (82 U/L)、T-chol (68 mg/dL)、TP (4.4 g/dL)、Alb (2.8 g/dL) およびA/G比 (1.75) はすべて正常範囲内であった。

III. 病理学的検査所見

第25病日に病理解剖を実施した。心臓は軽度肥大し、心尖部が鈍化していた。肺動脈および大動脈は拡張し、左室から起始していた。心房中隔欠損 (直径4 cm) および両大血管弁の下部に位置する心室中隔欠損 (直径3.5 cm) が認められた。また、右心室壁の肥厚が認められた。肺の肉眼的な異常は認められず、病理組織学的検索においても、肺動脈の肥厚等の異常は認められなかった。

IV. 考察

病理学的検索により、本症例は両大血管弁下型DOLVと診断された。生前に確認された収縮期雑音および拡張期雑音はそれぞれ心室中隔欠損による左心室から右心室への流入および大動脈弁および肺動脈弁逆流が原因と考えられた。医学領域では、肺動脈狭窄のないDOLV症例では、肺への血液流入量増多により肺高血圧症を続発すると考えられている。本症例では、両大血管弁の下部に位置する心室中隔欠損により、左心室から駆出される血液が分散することで、短期的に肺高血圧を引き起こすほどの肺への血液流入はなかったと考えられた。しかしながら、右心室の肥大および肺動脈の拡張は認められており、いずれ肺高血圧症へと至る可能性は高く、長期的には予後不良であったと思われる。牛のDOLVについて、臨床所見を含めた報告はみあたらず、大変まれな症例であった。

骨盤腔内に巨大な腫瘤形成を認めた牛伝染性リンパ腫の1症例

○帆足遥¹⁾、原田俊之²⁾、小島一優¹⁾、前澤誠希¹⁾
チェンバーズ ジェームズ¹⁾、内田和幸¹⁾、猪熊 壽¹⁾
1) 東大・東京都/茨城県 2) ひので酪農協・茨城県

I. はじめに

牛伝染性リンパ腫 (enzootic bovine leukosis: EBL) は牛伝染性リンパ腫ウイルス (bovine leukemia virus: BLV) の感染により引き起こされるB細胞性のリンパ腫である。多くのEBL症例では、体表リンパ節腫大および末梢血異型リンパ球増多が認められ、腫大リンパ節の生体組織学的検査や末梢血塗抹検査により臨床診断される。しかし、これらの検査では診断が困難な症例も報告されている。今回、生前にEBLを疑ったが、体表リンパ節腫大および末梢血異型リンパ球増多が認められず、診断に苦慮した症例に遭遇したので、その概要を報告する。

II. 症例

症例は、5歳6ヶ月齢のホルスタイン種、雌牛で外陰部からの持続的な出血を主訴に受診した。食欲に問題はなく、体表リンパ節腫大はみられなかったが、排尿障害が認められ、直腸検査において巨大腫瘤を触知した。EBLを疑い、東京大学動物医療センターに精査の依頼があった。血液検査では、リンパ球数は正常範囲内であり、貧血は認められなかった。また、末梢血塗抹検査では、末梢血リンパ球のうち異型リンパ球は8%であった。血液生化学検査では、LDH-2 (1,255 U/L)、LDH-3 (468 U/L) およびチミジンキナーゼ活性 (6.0 U/L) の高値が認められた。また、末梢血BLVプロウイルス量は、1,422 copies/10 ng DNAと高値であった。

病理解剖では、骨盤腔内に膣、子宮、尿道および膀胱を巻き込む乳白色の巨大腫瘤が認められた。膣壁は乳白色腫瘤で全体的に置換されており腫瘤からは出血が確認された。また、内腸骨下リンパ節が顕著に腫大していた。病理組織学的検査では、いずれの腫瘤および内腸骨下リンパ節においても異型リンパ球の浸潤・増殖が認められ、B細胞性リンパ腫と診断された。病理解剖時に行った膣内腫瘤の細針吸引 (fine needle aspiration: FNA) による細胞診では、中～大型の異型リンパ球が多数 (80.5%) 認められた。

III. 考察

本症例は、骨盤腔内に巨大な腫瘤が触知されたこと、およびLDHアイソザイム・TK・PVLが著増していたことからEBLを疑ったものの、体表リンパ節腫大が認められなかったため、細胞診を実施せず、生前の確定診断には至らなかった。病理学的検査によりB細胞性リンパ腫であることが確認され、EBLと確定診断された。病理解剖時の膣内腫瘤FNAによる細胞診では中～大型リンパ球が主体であり、EBL発症の根拠の一つとなった。膣壁は広範に腫瘤に置換されており、生前にも体外から膣内腫瘤FNAによる細胞診が可能であったと考えられ、臨床診断の一助となった可能性がある。

胸腔鏡下において胸腺腫を摘出した犬の1例

○川西航太郎^{1) 3)}、重本 仁²⁾、深澤瑠璃衣¹⁾、安 正代¹⁾、鳥巢至道³⁾

1) 動物病院ハートランド 2) 王子ペットクリニック

3) 酪農学園大学 伴侶動物外科

I. はじめに

動物の胸腺腫は比較的高齢で発症し、好発品種は確認されておらず、また非浸潤性が多いとされ、治療の第一選択は外科手術となる。今回前縦隔に発生した胸腺腫に対し、胸腔鏡を用いて摘出したのでその概要を報告する。

II. 症例および結果

症例は甲斐犬、9歳2ヶ月齢、去勢雄、13kg。眼瞼腫瘍切除を目的に来院したが術前のレントゲン検査にて前胸部に約30×40mmの腫瘍が見つかったため、眼瞼腫瘍摘出時に麻酔下にて造影CTを撮影した。腫瘍サイズは37.4×23.7×25.5mmで不規則に造影され、同時に行ったFNAでは液体成分が採取され有意な細胞は採取できなかった。無症状であることや造影CTの結果から胸腺腫と仮診断し、第27病日に再度CT撮影を行うと共に胸腔鏡下での腫瘍切除を行った。症例は仰臥位に固定し右肋間からのアプローチを行った。トロッカーを右第3、4、5肋間に挿入し腫瘍を確認した。腫瘍は心膜からは離れていたが一部内胸動静脈に癒着していた。右内胸静脈は癒着のため切離したが、それ以外の部分は鉗子による剥離と超音波メスで凝固切開した。左右の横隔神経の温存を確認し腫瘍はパースを用いて体外へ摘出した。手術時間は90分、切開部の長さは1cmが1箇所、4cmが1箇所であった。症例は順調に回復し術後2日で退院とした。病理検査結果は胸腺腫typeABで術後半年経った今でも明らかな再発・転移は認められない。

III. 考察

一般的に胸腺腫切除には胸骨正中切開術もしくは肋間開胸術が必要となり、侵襲の大きい手術となる。しかし胸腔鏡を用いることで動物の術中術後の疼痛を軽減できるだけでなく、術者が近接した視野を確保できるためより安全に手術を遂行することができる。従来の胸腔鏡下胸腺腫切除は胸骨下もしくは左右からトロッカーを挿入し作業を行うことが多いが、その術式では術者の鉗子操作が困難になり、術中操作に大きな影響を与えることが多い。腫瘍サイズにもよるが、今回実施した右肋間からのアプローチは術者にとっても安全に胸腺腫を摘出でき、鉗子操作にも大きなストレスはなかった。胸腔鏡下胸腺腫切除の術式は確立されておらず都度最適な術式を模索しているのが現状である。今回の術式を選択したことで、動物への負担を最小限に抑えることができたため術後の回復も早く、飼い主の満足度も高い結果となった。今後も症例を重ねてより安全な術式を検討していきたい。

猫の中耳炎6例の治療成績

○福井祐一¹⁾、福井祐子¹⁾、川西航太郎²⁾

1) こまち動物病院・茨城県、2) 動物病院ハートランド・茨城県

I. はじめに

猫の原発性中耳炎は耳管からの感染が原因と考えられているが、正確な機序はわかっていない。鼓室胞内に粘液体が貯留して耳の違和感や前庭障害を引き起こし、鼓膜から液体が漏出すると耳漏を呈する。診断はCTやMRIによる画像検査で鼓室胞内の貯留物を確認し、治療は腹側鼓室胞切開あるいは耳道内内視鏡（ビデオオトスコープ、以下VOS）を用いた鼓膜穿刺により中耳内容物を除去洗浄するとともに、中耳内容物の細菌培養検査に基づいた抗菌剤療法が推奨されるが、一次診療施設では上記の診断治療を全て実施することは困難である。今回、猫の中耳炎6例に対して、VOSによる診断治療を実施し、若干の知見を得たのでここに報告する。

II. 材料および方法

2023年10月～2024年5月に当院に来院した中耳炎の猫6症例を対象とし、診療記録より品種、性別、年齢、症状、治療内容、合併症および予後を調査した。すべての症例で無麻酔での耳道洗浄とVOSによる観察を実施して、中耳炎と診断した。

III. 成績

品種は雑種猫が4匹、純血種が2匹、性別は雄4匹、雌2匹と品種や性別に明らかな傾向はなかった。年齢は4～20歳（中央値：11.5歳）と中高齢での発症が多かった。症状は片側性の耳漏が4例、斜頸が2例で、外耳道洗浄後に鼓膜の白濁、充血、白色膿様物の付着がVOSにて視認できた。すでに鼓膜穿孔していた1例を除く5例で全身麻酔下でのVOSガイドの鼓膜穿刺と中耳洗浄を実施した。また全例で中耳内容物の細菌培養検査を実施したが、うち3例は細菌が検出されなかった。術後は細菌が検出された3例では感受性抗菌剤の全身療法を行い、全例でグルココルチコイドの全身療法に加えて無麻酔での耳道洗浄を複数回実施した。予後は5例で中耳炎が改善したが、うち1例で症状の再発を認めたため腹側鼓室胞切開術を実施した。残り1例は処置後も症状の改善を認めなかった。

IV. 考察

6例中4例（67%）はVOSによる診断治療によって寛解した。一方、鼓室胞に存在する骨性の鼓室胞中隔が障害となって中耳内容物を完全に除去できなかった2例（33%）はVOSのみでは寛解に至らなかった。二次診療施設での治療成績も無効または再発が3割程度と報告されていることから、一次診療施設でもVOSを活用すれば同様の成績が得ることが可能であった。

茨城県内の植生マダニ種および紅斑熱群リケッチア保有状況について

○大澤修一¹⁾、阿部櫻子¹⁾、喜安嘉彦²⁾、堤徳正²⁾、上野絵里¹⁾

1) 茨城県衛研 2) 筑波大附属病院

I. はじめに

茨城県では2023年にマダニの関与が疑われるオズウイルス感染症が世界で初めて確認された。新規感染症の発生は、県内のマダニが保有する病原体が多様化していることを示している。そのため、マダニ媒介感染症を適切に診断・治療するためには、平時よりマダニが保有する病原体の多様性を明らかにし、関係機関等に注意喚起を行うことが重要である。そこで本試験では、茨城県内の植生マダニ種およびマダニ媒介感染症の原因の1つである紅斑熱群リケッチア（SFGR）保有状況を調査し、その分布域およびマダニにおける感染率（IR）を明らかにした。

II. 材料および方法

2023年4月～12月に県内で採取した植生マダニを地域、種およびステージ等で分類し、プール検体を作製した。抽出したDNAからリアルタイムPCRによるSFGRのスクリーニング検査を行い、陽性となった検体はシーケンス解析でリケッチア種を同定した。各SFGRについてPooledInfRateにより95%信頼区間（CI）におけるマダニ1000匹あたりの感染率（IR）を算出した。

III. 結果

（1）県内に生息する植生マダニの分布：計3,387匹のマダニが採取された。各地域の第1優占種は、鹿行地域以外でキチマダニであり、南方系マダニであるヤマアラシチマダニ（Hh）におよびタカサゴキラマダニ（At）が県北地域において採取された。（2）県内の植生マダニにおけるSFGR保有状況：プール検体654検体から、ヒトに病原性を示すリケッチア種として、*R.japonica*（Rj）、*R.tamurae*（Rt）および*R.raoultii*が検出された。各リケッチア種が検出されたマダニ種、地域およびIRは、表1のとおりであった。

表1 各リケッチア種が検出されたマダニ種、地域およびIR

リケッチア種	マダニ種	地域	IR (95% CI)
<i>R.japonica</i>	ヤマアラシチマダニ	県南	13.8(0.82-66.24)
	タカサゴキラマダニ	県央	7.8(0.48-36.81)
<i>R.tamurae</i>	タカサゴキラマダニ	県西	98.69(54.90-166.13)
	タカサゴキラマダニ	県南	125.98(68.70-212.47)
<i>R.raoultii</i>	キチマダニ	県央	2.03 (0.12-9.81)

IV. 考察

本調査で南方系マダニであるHhおよびAtが初めて県北地域で採取され、分布域が拡大していることが示唆された。県内のRj媒介マダニ種は不明であったが、本調査により初めてその1種がHhであることが明らかとなった。本調査でHhの分布域拡大が示唆されることから、県内における日本紅斑熱の発生地域はさらに拡大する恐れがある。RtのIRには地域差があり、Rtが県南および県西地域から県央地域に伝播していることが示唆された。県南地域ではRtのIRはRjよりも高いが、Rt感染症は報告されておらず、Rt感染症の発生が見逃されている可能性があることが考えられた。

茨城県動物指導センターの現状と課題について

○江連虎勇¹⁾ 神谷陽介²⁾ 瀧川裕一郎³⁾ 高野直樹³⁾ 小森春樹³⁾

1) 茨城県県西食肉衛検 2) 茨城県生活衛生課 3) 茨城県動物指導センター

I. はじめに

茨城県では、平成28年に議員提案により「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」が制定され、翌年の平成29年度から「犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業」が開始された。これにより更なる殺処分数の減少が進み、また動物愛護団体等の多大な協力もあり、令和元年度には、譲渡適正がある犬猫殺処分ゼロを達成し、令和3年1月からは譲渡不適を含めた殺処分を行っていない。また、愛護動物にかかわる苦情件数等も減少傾向にある。しかし、これまで過去と比べて具体的にどの程度減少しているかや、内容の変遷等の詳細について、調査はされていなかった。

そこで今回、過去15年間における苦情および相談件数、収容頭数、殺処分数の推移を算出することで、茨城県内における犬や猫等の愛護動物にかかわる問題の改善状況及び現在茨城県動物指導センター（以下、「センター」という。）が直面している課題と課題への対策について考察したので報告する。

II. 調査期間および結果について

平成20年4月1日から令和6年3月31日までの、過去15年間の5年ごとにおける犬猫等にかかわる苦情件数および相談件数、収容頭数、殺処分数について調査を実施した。また、そのすべてにおいて減少傾向が認められた。

III. 課題と対策について

現在、センターでは収容されている犬猫の頭数、特に成犬が常に多いことと時期によって子猫が多いという問題を抱えている。これを受け、センターでは「犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業」に基づき、入口対策と出口対策により一層力を入れている。入口対策では、野犬の収容が多い市町村との連携や地域猫活動推進事業を実施することで収容される子猫の頭数の減少を目指している。また、出口対策では、譲渡を引き受けていただく登録ボランティアへの飼育管理費補助等を行うことで、センターから譲渡する犬猫の頭数増加を目指している。

IV. まとめ

令和3年1月以降、殺処分を行っておらず、一定の評価を得ているところだが、収容されている犬猫の頭数が多すぎることで問題もある。引き続き、収容されている頭数の減少に努めていきたいが、県の施策のみで改善するには限界があるため、今後は市町村と連携しながら、問題解決に向けて対応していく必要があると考える。

家畜防疫互助基金支援事業について

公益社団法人 茨城県畜産協会

わが国では、平成30年以降、豚熱（CSF）の発生が毎年確認されています。

また、アフリカ豚熱（ASF）は、現在、アジア地域で発生がないのはわが国と台湾だけです。一方で、韓国の釜山広域市では野生イノシシでASFの感染が拡大しており、釜山港からフェリーの就航があるわが国は、ASFウイルスの侵入リスクが極めて高い状況にあります。

口蹄疫は、平成22年の宮城県での発生以降、わが国での発生はありませんが、韓国、中国等のアジア周辺諸国で発生しており、油断できない状況です。

このように、農場は常にウイルス侵入の脅威にさらされ、CSF等がひとたび発生すれば、農場経営へのダメージは計り知れないものとなります。

このため、CSF等が発生した場合、発生農場の経営再開に向けた経済的な支援として、①国からの手当金、②共済金（家畜共済制度に加入している場合）、③家畜防疫互助基金（家畜防疫互助基金支援事業に加入している場合）の制度があります。

公益社団法人茨城県畜産協会（以下「協会」という。）は、家畜防疫互助基金支援事業において、公益社団法人中央畜産会（以下「中央畜産会」という。）の事務委託先となり、事業の周知及び推進、交付申込・交付契約締結に係る事務、生産者積立金の徴収及び納付、返還に係る事務等の県段階での事業推進業務を行っています。

今回、協会が携わる家畜防疫互助基金支援事業（以下、「事業」という。）について紹介します。

1 事業の目的

本事業は、口蹄疫やCSF等が発生した場合の経営への影響に備えるため、家畜飼養者が自ら積み立てを行い、発生農場が経営再開までに必要な経費等（発生農場の空舎期間の固定経費（雇用労賃、地代等））を互助基金として造成するものです。

また、経営を再開する発生農場に対し、国費分（独立行政法人農畜産業振興機構が1/2以内を支出）が合わせて交付されます。協会事業の対象疾病は、口蹄疫、CSF、ASF、牛疫、牛肺疫です。

なお、高病原性鳥インフルエンザ等は、一般社団法人日本養鶏協会が事務委託先となっています。

2 事業のしくみ

事業加入条件は、牛・豚の飼養者であること、飼養衛生管理基準を遵守していることです。

令和6年度～8年度の加入手続きは、令和6年3月31日に終了しましたが、新規就農者や農場の増設を行う場合、相続等で契約者に変更があった場合等は加入が可能です。

事業加入者は、中央畜産会と契約を締結し、生産者積立金を納付します。生産者積立金は、畜種別に管理されます。発生農場に支払われる経営支援互助金（以下「互助金」という。）は、牛飼養農場に対しては牛生産者積立金から、豚飼養農場に対しては豚生産者積立金から拠出されます。互助金は、発生農場で経営を再開する農場に交付され、廃業する農場には交付されません。

また、国から支払われる手当金と同様、発生農場が家畜伝染病の発生予防、まん延防止対策を講じていなかった場合は、互助金の減額又は支払われない場合があります。

互助金の交付決定にあたっては、都道府県段階の互助金交付認定委員会で、導入計画及び互助金交付単価の審査が行われ、最終的には、中央畜産会の互助金交付額認定委員会で、互助金交付額が決定されます。発生が無かった場合は、事業対策期間終了後、生産者積立金は全額返戻されます。対象疾病の発生が多く、生産者積立金が枯渇する場合は、追加納付が必要となる場合もあります。

3 全国の加入状況

平成21年度～令和5年度の事業期間（3年間）ごとの畜種別加入状況（全国平均加入率）は表1のとおりです。

乳用牛の頭数ベース加入率は、平成24年度に70.0%に低下し、その後60%台で推移しています。これは、平成22年以降、口蹄疫の発生がないことによると考えられます。肉用牛も同様の傾向にありますが、頭数ベース加入率は84%以上の高い加入率をキープしています。豚の頭数ベース加入率は、80%以上をキープしています。平成22年の口蹄疫、平成30年のCSFの発生の影響が考えられます。

表2は令和3年度～5年度の地域別加入状況です。

九州・沖縄地域の頭数ベース加入率は乳用牛、肉用牛、豚の全ての畜種で高く、これは、平成22年の口蹄疫の発生の経験が大きく影響していると考えられます。

北海道、東北地域の乳用牛の頭数ベース加入率は50%と低く、これは、北海道の頭数ベース加入率45%（都道府県別加入率より）が反映していると考えられます。

表1 事業期間ごとの畜種別加入状況の推移（全国平均加入率）

畜種	事業期間 加入率	平成21年度～ 平成23年度	平成24年度～ 平成26年度	平成27年度～ 平成29年度	平成30年度～ 令和2年度	令和3年度～ 令和5年度
	加入率(戸数)					
乳用牛	加入率(戸数)	83.8%	68.9%	63.9%	67.2%	63.8%
	加入率(頭数)	88.4%	70.0%	67.2%	63.2%	61.0%
肉用牛	加入率(戸数)	87%	76.7%	72.7%	78.1%	76.7%
	加入率(頭数)	110.6%	94.0%	91.6%	87.6%	84.4%
豚	加入率(戸数)	68.3%	55.6%	49.1%	56.9%	56.3%
	加入率(頭数)	90.2%	83.0%	81.5%	85.1%	87.1%

表2 令和3年度～5年度地域別加入状況

地域	乳用牛		肉用牛		豚	
	加入率(戸数)	加入率(頭数)	加入率(戸数)	加入率(頭数)	加入率(戸数)	加入率(頭数)
北海道・東北	54.0%	50.0%	74.5%	68.6%	51.7%	77.7%
関東	76.5%	86.9%	80.6%	91.6%	67.9%	99.3%
東海・甲信越	61.8%	70.5%	64.8%	83.5%	62.7%	83.6%
関西	63.0%	72.1%	34.5%	77.9%	58.3%	95.1%
中国・四国	60.1%	71.0%	58.6%	80.6%	65.8%	85.4%
九州・沖縄	102.1%	107.4%	84.2%	97.9%	47.2%	87.6%

4 茨城県の加入状況

事業期間が令和3年度～5年度の茨城県の加入状況は表3のとおりです。3畜種とも頭数ベースで80%前後の比較的高い加入率でした。

表3 令和3年度～5年度茨城県の加入状況

茨城県	乳用牛		肉用牛		豚	
	加入率(戸数)	加入率(頭数)	加入率(戸数)	加入率(頭数)	加入率(戸数)	加入率(頭数)
	63.6%	79.0%	77.6%	83.5%	55.8%	76.6%

協会は、家畜飼養者に対し加入の継続と新たに事業に参加いただけるよう、引き続き事業の周知を行っていきます。

生産者積立金、経営支援互助金とその単価等については、中央畜産会の令和6年度～8年度パンフレット「家畜防疫互助事業に参加しましょう！」をご覧ください。[家畜防疫2024.indd \(lin.gr.jp\)](#)

農業共済・収入保険の加入者に 「環境負荷低減のチェックシート」の提出を依頼

茨城県農業共済組合連合会

農林水産省は「みどりの食料システム戦略」に掲げる環境負荷低減の取組を推進するため、令和6年度から、各種補助事業を受けるに当たって、環境にやさしい取組の実践を要件としています（「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」）。

農業共済（農作物共済、家畜共済、畑作物共済、果樹共済、園芸施設共済）及び収入保険においては、環境にやさしい最低限の取組の実践は、「要件」ではありませんが、農家が日頃から実践している環境にやさしい取組が消費者にも伝わり、その評価にもつながることから、令和7年から加入申請時に、環境にやさしい最低限の取組の実践と「環境負荷低減のチェックシート」の提出について、ご協力お願いすることになりました。

産業動物獣医師の皆さまにおかれましても、畜産農家の環境負荷低減に係る理解醸成に、なお一層の尽力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス

「みどりの食料システム戦略」においては、政策手法のグリーン化の取組として、2030年までに施策の支援対象を持続可能な食料・農林水産業を行う者へ集中していくことを目指すとともに、補助金拡充、環境負荷低減メニューの充実、これらとセットでのクロスコンプライアンス要件の充実を図ることとされました。

農林水産省は、令和6～8年度の試行実施を経て、全ての補助事業等に対して、最低限行うべき環境負荷低減の取組の実践を義務化する「クロスコンプライアンス」を導入するとしており、これにより、農林水産省の補助金等の交付を受ける場合には、環境負荷低減の取組の実践が必須となります。

環境負荷低減のクロスコンプライアンスの「7つの取組」

農林漁業に由来する環境負荷に総合的に配慮するための基本的な取組として、①適正な施肥②適正な防除③エネルギーの節減④悪臭及び害虫の発生防止⑤廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分⑥生物多様性への悪影響の防止⑦環境関係法令の遵守等の7つが掲げられています。

「環境負荷低減のチェックシート」の例（畜産経営体向け）

収入保険・農業共済にご加入の皆様へ

- ・農林水産省では、持続可能な食料システムの構築に向けて「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷低減のイノベーションを推進しています。
（詳しくは農林水産省ホームページをご覧ください。【農林水産省ホームページ】<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>）
- ・本チェックシートは、「みどりの食料システム戦略」に掲げる環境負荷低減の取組を推進するために実施するものです。
- ・収入保険又は農業共済のいずれかの加入手続きにおいて、年1回の提出をお願いします。



【農林水産省ホームページ】

【畜産経営体向け】

環境負荷低減のチェックシート（_____年分）

※飼料生産を行う場合のみ

No.	(1) 適正な施肥
①	肥料の適正な保管
②	肥料の使用状況等の記録・保存に努める

No.	(2) 適正な防除
③	病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討
④	農薬の適正な使用・保管
⑤	農薬の使用状況等の記録・保存

No.	(3) エネルギーの節減
⑥	畜舎内の照明、温度管理等施設・機械等の使用や導入に際して、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める

No.	(4) 悪臭及び害虫の発生防止
⑦	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
⑧	家畜排せつ物の管理基準の遵守 ※飼養頭数が一定規模以上の場合のみ (注) 一定規模：牛又は馬10頭、豚100頭、鶏2,000羽

No.	(5) 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分
⑨	ブラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理

No.	(6) 生物多様性への悪影響の防止
⑩	排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守 ※特定事業場である場合のみ (注) 特定事業場：総面積200㎡以上の牛房、総面積500㎡以上の馬房、総面積50㎡以上の豚房

No.	(7) 環境関係法令の遵守等
⑪	みどりの食料システム戦略の理解
⑫	関係法令の遵守
⑬	GAP・HACCPについて可能な取組から実践
⑭	アニマルウェルフェアの考えに基づいた飼養管理の考え方を認識している
⑮	農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める
⑯	正しい知識に基づく作業安全に努める

	前年の取組結果	当年の取組予定
(1)から(7)までの全ての取組を実施	☐ しました	☐ します
氏 名		

加入申請時にチェックシートを読み、

前年の取組結果（実施したこと）を確認し、チェック

当年の取組予定（実施すること）を確認し、チェック

茨城県獣医師会顧問法律事務所

人見法律事務所

弁護士 人見 光 一

〒310-0021 水戸市南町1-3-27 橋本ビル2F

TEL 029-225-6388 FAX 029-232-0716

会員の各種相談にご利用ください。

動物病院の人材紹介に思うこと

第8支部 千 装 勉

昨今、どの業界においても人手不足は大きな問題となっている。それは我々、動物病院業界においても当てはまる。そんな中、人材紹介業界の急成長はテレビのCMの多さからも容易に見て取れる。もちろん、その人が、最も活躍できる就職・転職が出来て、企業にとっても求める人材確保ができる、それが実現できるなら、それはとても素晴らしいことである。

その紹介料は、一般に年収の35%と言われ、さらに年々上昇傾向で、40%以上を提示する業者まで現れている。そこで獣医師を雇用しようとするれば紹介料は最低でも150万円程度が必要となる計算である。この額は、相場と言われればそれまでだが、個人経営の動物病院にとって容易に支払える額ではない。

もちろん、大事なことは、その額ではなく、その内容である。求職者と雇用者の適切なマッチングが行われるのであれば、その高額な投資も健全な投資となる。だが、現実がそうになっているとは思えないのである。その相場を利用し、高額な紹介料を得ることが目的となり、求職者の希望、適正など関係なく、高額な紹介料を払える企業への就職を斡旋する。そんな状態になっているように思えてならない。

当院に求職者を紹介してきたある人材紹介会社の担当者は、「この方は、こういう方でこういうスキルが有って、御社にぴったりです!」となんかどっかで聞いたようなフレーズで紹介いただいた。しかし、よくよく確認すると、その担当者は求職者とは会ってもおらず、ちょっと電話で話しただけ

とのことである。担当者は、ちょっと電話で話しただけで、求職者の特性を把握しているというのであるから素晴らしいと表現するべきなのであろうか。さらには、御社にぴったりとも言われたが、こちらの求める人材像のことをその担当者に話した覚えは自分にはないのである。

また、早期の退職があった場合について確認したところ、3か月以内に退職したら紹介料の20%を返金するとのこと。何故に3か月なのかと聞いたところ、「私の把握している早期退職者は皆3か月以内なので」との返答であった。「その後もフォローアップしていらっしゃるのですか」とこちらが返したところ、「いえ、それはしていません」とのことである。「ちょっと待ってください。それならば、3か月以内の退職者しか把握できないはずではないですか?」さらに、「ちなみに、3か月で退職した求職者が、また新たに次の紹介を希望したらどうするのですか?」と聞いたら、「・・・紹介します」との答えである。紹介料も新たに紹介した動物病院に請求し、退職された動物病院には3か月を過ぎているので返還しないのだそうだ。これでは3か月ごとに転職を繰り返すと紹介業者だけが潤い、動物病院業界は搾取されるのみである。本来、お付き合いはWIN-WINの関係であるべきである。逆に、取引相手が痛みを感じたならば、お互いに痛みを感じるべきである。動物病院にとって、早期に退職されるということは、紹介料云々の前に、それまでの教育にかけた時間と費用をも失うことである。そんな状況で、紹介業者は、新たな紹介先から紹介料をまた得て潤うのである。ミスマッチを引き起こした仲介者としての責任を感じ、パートナー企業としてお互いに成長を目指すなら、紹介料を全

額返還し、痛みを分け合うべきである。

実際にそのように3か月ごとに転職を繰り返している求職者がいるという事実は把握していない。だが、自分の友人に、ちょうど紹介料の返還の期限が切れた3か月というタイミングで退職されたという動物病院経営者がいる。まさに泣き寝入りであったという。ただ、その退職者のその後は把握していないので、また紹介業者を潤したのかはわからない。紹介業者の中に、自分の実績のため、ノルマ達成のために繰り返しの転職を促すというような行為をするものはいないと信じたい。

雇用者側にも考えるべきことはある。人材紹介を受けるなら適切な取引相手を選ぶべきである。その取引相手を潤すことが、自分たちの業界のためになるのか考えるべきである。この紹介料が高騰していく要因は目先のことにとらわれ、不適切な取引相手を利しているからかもしれない。正直言えば、自分も闇落ちしそうになったことはある。自分自身の中にある紹介業者に対する不信感に蓋をして、紹介料を払って求職者を迎えようとギリギリのところまで行ってしまった。

また、早期退職に至る求職者とのミスマッチの原因が動物病院にあるのかもしれないということも考えなければいけない。従業員にとって良い環境は創り出せているのだろうか。使い捨てのように扱っていないだろうか。辞めてしまうのは当たり前、辞めたら紹介料払って新たに雇用するのも当たり前、そんなビジネスモデルにしてしまって良いのだろうか。

そして、求職者にも知ってほしいことがある。エージェントなどと名乗る人材紹介業者は、とても親切に、そしてとても積極的にアプローチしてくる。待っていても就職先を探してくれるのである。

「とてもありがたいので、お任せしちゃう」本当にそれでいいのだろうか。なぜ、そんなに親切なのだろうかと思うべきだ。「求職者として登録するとクオカードくれるんです」。なおさら、疑った方が良さそう。その原資はどこからだろうか。

紹介料は、給料を削って出しているわけではない。しかし、給与を増やせば紹介料も増額してしまう。そして紹介料分は本当なら賞与に上乗せされていたものかもしれない。

紹介してもらえる動物病院は偏っていないか。あなたに合っている動物病院を紹介してもらえるだろうか。実は紹介業者に都合のいい動物病院を、つまり、多くの紹介料を払うところだけを紹介しているのである。さらに少し乱暴な言い回しになるが、大学生まで「好い鴨」にされ始めている。大学生の就職活動に業者が入り込み、紹介料稼ぎの材料にされ、中には実習先選びにさえ入り込み、それまでもお金儲けの道具にされ始めている現状だ。

紹介業者が、求職者と動物病院のために、そのベストマッチのために、本気で尽くしていると信頼できるのであれば利用しても良いだろう。そのような信頼関係を築いているのであれば、紹介料は健全な投資であり、健全な投資を行える動物病院への就職は良いものとなる。

そうは言ったものの、お勧めは、自分を信じ、自分の足で就職先を探すこと。自分で連絡を取ることを面倒だと思わず、多くの候補を回り、自分の眼で見て、感じてみるべきである。苦労を惜しんで失うものは多いのです。

東南アジア 1 人旅の体験から思うこと

水戸市保健所 小 高 哲 明

私は、たまに東南アジアを1人旅している。その中で、いくつかの体験談を少しだけ獣医師的な真面目な視点も交えつつ、振り返ってみたいと思う。

まずは、行くと人生観が変わると言われるインドに行った時のことだ。当時の首都デリーは、ほこりまみれの汚い街で、車、バイク、あちこちで鳴らされるクラクションの音、たくさんの人混み、そして我が物顔で歩く牛と、まさにカオスな世界が広がっていた。さらに、話しかけてくる人は100%詐欺師で「今日はインドの祝日で駅はやっていないよ」などと話しかけてきて騙そうとしたり、駅では、駅員のような格好をして通行料を要

求してくる詐欺師がいたり、なかなか刺激あふれる街だった。

場所は変わり、バラナシにあるガンジス川。川沿いに火葬場があり、日々、死体が焼かれている。その横で沐浴やら洗濯をしている人達がいる。子ども達は川沿いに手作りのゲートを作り、外国人に通行料を要求している。大人達は火葬場付近で観光客に見学料を要求している。こちらもデリーに負けじとカオスな世界だった。

ただ、夕方に川沿いから見るガンジス川は純粋に美しく、当時、国試に落ちたと思っていた自分には心に染みた。



【我が物顔で歩く牛たち】



【ガンジス川から見る夕日】



【ガンジス川で沐浴や洗濯する人々】

次は、タージマハルのあるアグラ駅へ向かうために電車待ちをしていた時のことだ。海外なら良くあることだが、発車時刻の夕方6時になっても予定の電車が来ない。駅員さんに聞いても「まだだ」と。それから数時間待ち、周囲が暗くなっても電車は来ない。地元の駅なので見渡す限りインド人で、言葉もわからずかなり不安だった憶えがある。結局、深夜2時くらいに電車が来た。さすがインドというか、日本では考えられない出来事だった。8時間遅



【当たり前につながれていない犬たち】

最近、マレーシアやタイに行ったが、一昔前とは状況が大きく変わった。中心部は日本と同等かそれ以上に近代化し、キレイな鉄道網が整備されているから移動も安全で簡単である。タクシーを利用するにしてもスマートフォンでGrabアプリを使えば適切な料金で、一切の会話不要で目的地まで行けてしまう。また現地での会話にしても翻訳アプリなどを使えば、苦勞もしない。そのため、今は旅が少し味気無いものになってしまってきている。

マレーシアは屋台でもキャッシュレス決済が普及していて、現地の方々は皆QRコード払いであった。食品衛生の観点からも、調理の最中に現金に触れるよりも衛生的で、日本も取り入れるべき点かと

思われる。また、マレーシアのトイレは和式の様なタイプだが紙がなく、代わりにシャワーが横についている。お尻を拭く代わりに、シャワーでお尻を洗う。この形式は便が手につく可能性が高く、トイレ後の手洗いは念



【どの屋台にもあるQRコード】

入りにしないと食中毒につながると思われる。このような背景もキャッシュレス決済普及の一因なのかもしれない。

海外において蚊やダニの対策が必須なのは獣医師ならば常識かと思う。しかし、あちらに行くと半袖ハーフパンツのサンダル履きで完全ノーガードの若い旅行者を良く見かける。獣医学を学んでいなければ、自分も同じだったと思う。彼らにもっと感染症の知識が届くように働きかけるのも公衆衛生獣医師の役割なのかなとも思う。ちなみに日本で虫除けを買うならばディート濃度が15～30%程度あるものが良い。適当に買うと濃度が低い可能性がある。ディートの作用としては、蚊の感覚器に作用して、蚊が誘因物質に反応ができなくなり、体表に接着しなくなるとのこと。詳しくは調べてほしい。

やはり海外に行って新しい体験・出会いができることは面白い。今はLCCもあるので航空券も安く手に入るし、金曜の勤務後に深夜便で出発し、日曜帰国の弾丸旅行も可能である。日本にいただけでは気づけないことにも気づけるし、業務や研究に疲れた心をリフレッシュしてくれる。私は、今後も旅は続けていきたいと思っている。しかし、それには家族の理解が必須である。毎年、1人旅を許してくれる家族、特に妻には大変感謝している。

動物園の記録を残す ～Zoo Science Journal (ZSH 動物園学紀要) の創刊～

日立市かみね動物園 川 瀬 啓 祐

はじめに

日立市かみね動物園(当園)は、昭和32年(1957年)に開園して以降、多くの動物を飼育してきました。そうした中にはヒムネバトのように日本で初めて繁殖に成功した種もあり(昭和58年(1983年)日本動物園水族館協会の繁殖賞を受賞)、非常に多くの歴史が積み重なっております。そうした歴史の裏には、これまでの獣医師や飼育員の努力や技術も積み重なっていると思います。こうした獣医師や飼育員の技術というものはあまり表立って見かけることはあまりありません。しかしながら、後世に伝えなくてはいけない技術であると感じております。

当園では数年前より、茨城大学・千葉市動物公園との間で「動物園学研究拠点」を展開しており、多くの共同研究や教育活動を実施してきました。そして、昨年度、新たな取り組みの一つとして、「Zoo Science Journal (ZSH 動物園学紀要)」を創刊しました。この雑誌には、我々動物園職員が日々の取り組みから得られた知見を記録し、それらを掲載しております。こうした記録が後世に役立ち、動物園動物の飼育管理に役立てられることを期待しております。本稿では、こうした動物園での記録を残す重要性について少しだけお話しできればと思います。

動物園での研究

動物園の役割の一つに、「調査・研究」があげられます。動物園は単なる娯楽施設ではなく、飼育動物の研究も行っております。野生の動物では得ることが難しい知見を得たり、絶滅の危機に瀕している種の繁殖生理の研究を行いその種の保全に役立てたりと、非常に多くの分野での研究が実施されております。動物園での研究報告も、近年、増加傾向にあり、今後より発展し、その重要性も増していくことかと思っております。

動物園での技術・経験の継承

筆者が動物園業界に就職してから10年ほどが経過いたしました。こうした中でいろいろな経験をさせてもらいました。大型動物の出産や手術をはじめ、超小型の爬虫類の治療、各種動物の剖検など貴重な経験をしました。近年の獣医学的な新たな知見も非常に重要ですが、先輩獣医師・飼育員の経験や技術も非常に大事だと感じております。過去に実施・経験したことがある人の助言というのも非常に頼もしく感じております。しかし、そうした経験の多くは、明文化されておらず、その人の頭の中に詰まっていることが



図 2024年3月に発刊された「ZSH 動物園学紀要」創刊号

11本の研究報告が掲載されているほか、各動物園の活動報告も掲載されている。

多くあります。しかし、そうした経験や技術は後世につなげるべきものであるし、伝えなくてはいけないものであると感じております。

これまでの動物園での技術・経験の継承の方法としては、職場での引継ぎや、より多くの人に伝えるべき報告等は、各種研究会や学会、さらには学術論文という形で報告がなされてきております。しかしながら、そうした学会等での発表までされないような技術というのも存在しております。例えば、人工哺育の記録、環境エンリッチメントの道具の作成方法・使用感、各種イベントの記録など、日常業務で得られた知見というものは非常に多く存在しております。また、研究会等での報告では成功した事例はよく見聞きするものの、思ったような効果が得られなかった事例などは、あまり見聞きする機会は少なく、実施者の記憶にとどまってしまうことも多いのではないのでしょうか。しかしながら、こうした失敗例等も貴重な経験であり、今後の動物園業務の発展には不可欠な要素かと思えます。こうした試行錯誤の結果、よりよい獣医療や飼育業務、イベントへとつながっていくのではないかと思います。

「Zoo Science Journal (ZSH 動物園学紀要)」では、こうした日常業務で得られた知見を残すべく、そして広く伝えるべく、非常に多くの研究報告や事例報告、技術報告が掲載されております。動物園職員の努力や試行錯誤を垣間見ることができます。ぜひとも、一読していただければと思います。そして、動物園ではこんなことをしているんだ、こんなことがあったんだと感じていただければと思います。なお、本誌はオープンアクセス方式となっておりますので、かみね動物園のHPやweb検索していただくと読むことが可能ですので、お時間のある時にアクセスしてみてください。(https://dklabo.wixsite.com/izsh/zoo-science-journal)

今後も、動物園で得られた知見を残すべく、「Zoo Science Journal (ZSH 動物園学紀要)」を末永く続けられればと思います。

【11月から2月までは「ノロウイルス食中毒予防強化期間」です。】

ノロウイルスによる食中毒や感染症を予防しましょう！！

ノロウイルス食中毒を予防するためには…

ウイルスを調理場内に・・・ **「持ち込まない！」**

食べ物や調理器具にウイルスを・・・ **「ひろげない！」**

食べ物にウイルスを・・・ **「つけない！」**

付着してしまったウイルスを加熱して **「やっつける！」**

という4つのことが原則となります。

調理従事者の**健康管理**、**清潔を保つ**、**適切な温度管理**、**十分な加熱処理**と併せて、**手洗いを徹底**しましょう！



お問い合わせ先▶



公益社団法人
茨城県食品衛生協会

〒310-0852 水戸市笠原町600-44

TEL:029-241-9511 または当協会ホームページ www.ib-syoku.jp/

ゴマフアザラシ「いずみ」

アクアワールド茨城県大洗水族館
海獣展示課 十 亀 咲 子

2024年6月、アクアワールド・大洗に1頭のメスのゴマフアザラシがやってきました。伊豆・三津(いずみと)シーパラダイス生まれであるため、「いずみ」と名付けました。いずみは神経質でおとなしい性格だと聞いていたので、環境に慣れるのに時間がかかる可能性も考えていましたが、当館に来てからの知らない物や場所にあまり怖がることなく、好奇心旺盛です。伊豆・三津シーパラダイスから当館に移動した際、初めての場所で知らない人に囲まれながらも落ち着いていました。その後、健康状態の確認と新しい環境に慣れてもらうためにしばらくバックヤードにて飼育していました。バックヤードの飼育スペースはコンパネで仕切られており、いずみは人が通りかかるたびに首を伸ばして外の様子をうかがい、バックヤードに誰もいない時にはドッタンバタンと物音が



名前は「いずみ」

聞こえることもしばしばありました。バックヤードに係員が入ると音は止むので何をしているのかは分かりませんが、とりあえずは新しい環境に少しずつ慣れてきているようで安心していました。そして、お試しで展示プールに入れるようになった頃、物音



外を覗く「いずみ」

の理由が判明しました。係員がいつものようにバックヤードに入ると通路の真ん中にいずみがいたのです。飼育スペースの仕切りにはどこにも壊された跡がないにもかかわらず、いずみは飼育スペースの外にいたのです。アザラシは陸場ではあまり動けず、特に上下の動きには弱いイメージでしたが、どうやら80cm程の高さの敷居をよじ登って外に出たのだと思われます。幸いいずみに怪我等はなく、施設は2重扉になっており脱走の心配もありませんでした。まだ小さいアザラシがこの高さの敷居を超えられることに驚きました。係員がいない時の物音はいずみが出ようとチャレンジしている音だったので、やってきて早々活発な姿を見せてくれました。

そんな外の世界に興味津々のいずみは順調に新しい環境に慣れていき、7月には展示水槽にデビューすることができました。元からいる「ひすい」、

「しょうへい」とは大きな争いをする事もなく、3頭での生活が始まりました。いずみは2頭と一緒に泳いだり戯れあったりするようになり、アザラシたちの動きにも少し変化が出てきました。いずみはお客さまに対しても興味津々で、ジーっと見つめたり追いかけてたりして遊んでいるようです。

展示水槽デビューして間もなく換毛期になり、新しい毛が生えて少し見た目が変わったいずみ。夕方頃、陸に上がり乾いた姿は白くてふわふわしており眠気を帯びた表情も相まってなんとも可愛らしいです。当館に来館された際には、新しい仲間「いずみ」が加わり少し様子が変わったアクアワールド・大洗のアザラシ水槽を是非ご覧ください。



水中で近づいてくる「いずみ」



ふわふわの「いずみ」

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します



本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027
東京都中央区日本橋1丁目16番地3号
日本橋木村ビル7階
TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

- ・北海道支店
札幌
- ・東日本支店
前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京
大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

Buen camino !

－スペイン巡礼の旅 870kmを歩いて－

勤務退職者支部 鈴木 睦 夫

1 旅の契機

私は、キリスト教徒ではありません。大方の日本人と同じように冠婚葬祭、年中行事や節句等を通じ神仏を拝礼する程度の形式的な信仰心しか持ち合わせてはいません。そんな私が、キリスト教カトリック三大巡礼の一つ「サンティアゴ巡礼」を目指すきっかけとなったのは、コロナ禍が始まろうとしていた令和2年3月に、NHKが3回シリーズで放送した「聖なる巡礼路に行く～カミーノ・デ・サンティアゴ～」という番組を視聴したことでした。「宗教の道」「肉体の道」「魂の道」と題し3週にわたって放送され、フランス側からピレネー山脈の国境を超え総延長約800kmに及ぶ長く過酷な道のりを信仰や自己と向き合うためにひたすら歩く人々の姿、巡礼者同士の交流、スペイン中央部に広がるメセタと呼ばれる乾燥高原大地の美しい景観や巡礼路に散在する教会建築群など非日常異文化を映像で視聴するうちに、いつか行ってみたいという漠然とした憧れを抱いたのです。「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路：カミーノ・フランセスとスペイン北部の巡礼路群（スペイン）」として、1993年に世界遺産（文化）に登録されたことや、巡礼は信仰の有無にかかわらず全

ての人々に門戸が開かれていること、巡礼経験者の様々な情報がネットで簡単に得られることなどを知り、私の「死ぬまでにやりたいこと」リストの一つに「サンティアゴ巡礼」を加えることを密かに決意しました。

2 事前準備

ローマ、エルサレムと並びキリスト教の三大巡礼地とされるスペイン西北部ガリシア州に位置するサンティアゴ・デ・コンポステーラは、9世紀ごろ星に導かれた羊飼いがこの地で十二使徒のひとり聖ヤコブ（スペイン語でサンティアゴ）の墓を発見したといわれ、爾来遺骨を祀る聖堂が建立されました。ヨーロッパ各地から多くの巡礼者が訪れる聖地となり、巡礼路は千年以上の歴史を重ねイベリア半島内には、北の道、イギリス人の道、銀の道、ポルトガル人の道など多くのルートがあることを知りました。私はこのうち巡礼者数が最も多く人気の高いカミーノフランセス（フランス人の道）を巡礼路に選択することにしました。巡礼に関する情報を提供している「NPO法人日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会」のホームページによれば、スペイン国境に近いフランス側の小さな



サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂
中央が聖ヤコブ像



巡礼路「■線が巡礼した順路」

【サン・ジャン・ピエ・ド・ボー～サンティアゴ・デ・コンポステーラ～フィステーラ】

町サン・ジャン・ピエ・ド・ポー Saint Jean Pied de Portから出発し、サンティアゴ・デ・コンポステーラ Santiago de Compostelaまでは約780kmの距離があり、平均24km程の距離を毎日休みなく歩き続けても33日間の行程とのこと。歩き続けることに加え、寝袋、着替え、日用品、行動食、飲料などを詰めたバックパックを背負う必要もあることなどを知るにつれ、メタボの見本ともいえる自身の腹回りを見れば、巡礼の旅など夢のまた夢にしかすぎず、まずは歩ききれ体力と気力を養うべく、このための相当な準備期間が必要なことを認識した次第です。



巡礼路の風景

(1) 体力強化

当時95kg超のメタボ状態を改善すべく、令和元年8月から地元のスポーツジムに通い始めてはいましたが、平日の仕事と遠距離通勤を口実に土日のみ申し訳程度に行う運動量では、改善はみられず現状維持が続いていました。コロナが猖獗を極める中、スポーツジムも休業となり土日自宅周辺のウォーキングを継続しながら、ネットで「サンティアゴ巡礼」について詳しく調べ始めたところ、巡礼路には標高1,300mを超えるピレネー山脈をはじめいくつかの峠越えもあり、長い距離を歩く能力に加えて登山経験もあると良いこと等を知りました。登山経験は全く無くどうしたものか思案するさなか、地元高萩市が主催する市民講座で、花貫溪谷にある「土岳」等低山ハイキングを安全に行うための講座が開講することを知り早速応募しましたが、残念ながら落選となりました。3ヶ月間の市

民講座が終了した令和3年12月、担当の職員から「講座修了者同士でハイキングクラブを立ち上げる予定なので参加してはどうか」との電話をいただきました。さっそく入会しアウトドアショップで用具一式をそろえ、翌月から月2回ほどのペースでクラブの山行に参加し、地図の読み方、コンパスやトレッキングボールの使い方などを教えていただきながら、初心者の方々と一緒に低山ハイキングを楽しむようになりました。当時の私にとって標高599mの土岳でさえも登り降りの450mはとてもきつく感じられ体力不足を痛感しながらも、登頂後の達成感と季節の移ろいや自然、眺望の美しさに魅了され徐々に登山の楽しさを実感するようになりました。登山が大きな動機付けともなり、加えて令和5年3月末に完全退職したことで、ほぼ毎日スポーツジムに通い始めると1年足らずで10kg程の減量を達成しました。長い距離を歩き続けるための訓練として約7kgのバックパックを背負い、日立駅、常陸多賀駅、大甕駅と徐々に距離を伸ばしながら各駅から自宅まで3日間連続して歩き、距離感や休憩給水の時機、足のマメ防止対策などを体感しながら歩行鍛錬に努めました。3日間だけでしたが20km超の距離を毎日歩き続けることで多少の自信が生まれました。出発直前には長時間歩行を行い、小木津駅を早朝出発して小木津山、羽黒山、神峰山、御岩山、高鈴山、風神山と日立アルプスを縦走し、大甕駅まで約29km(登り降り1,450m)を11時間かけて歩ききり、巡礼に向けて体力面での自信を深めることができました。

(2) 旅の手配

令和6年3月、念願の「サンティアゴ巡礼」を具現化すべく旅の手配を始めることとしました。ベストシーズンは新緑の5～6月と言われていることから、4月下旬に出発し6月上旬までの51日間と余裕を持った巡礼日程を設定しました。まずは巡礼スタート地点のフランスSaint Jean Pied de Port(以下SJPP)の町に到着すること、次に巡礼スタート後2日程度の宿を確保することまでが出来れば、あとはどうにかなるだろうとの楽観的な考えで旅の手配のためパソコンに向かいました。この時点では、計画について家族にもまだ話していません。

航空券や現地の鉄道・バス移動チケット、当面の宿の予約などが完了すれば、自分自身の踏ん切りもつくし家族の賛同も得やすいだろうとの思いで、悪戦苦闘しつつ何とかネット予約と決済を実行しました。SJPPに行くには、パリ、マドリード、バルセロナから入国することが一般的です。私は入国後の宿への移動時間等も考慮し午前9時前に到着するアブダビ経由マドリード便を選択しました。航空券に関しては往路は予定通りとして、復路は途中でのリタイア等早期帰国の事態に備えて搭乗便変更可能な航空券としたので割高とはなりました。巡礼路の宿はアルベルゲ Albergue という2段ベッドで男女同宿のドミトリタイプのホステルが一般的なことから、最初の宿泊地マドリードでも宿はホステルとし2段ベッドの6人部屋を予約しました。翌2日目の早朝マドリードを発ちヘミングウェイの小説「日はまた昇る」の舞台となったパンプローナまでの高速鉄道のチケットと同所のアルベルゲを予約し、3日目にはパンプローナからSJPPに行く一日1便しかない正午発のバスチケットと同所在のアルベルゲを予約し、4日目の朝にSJPPを出発して巡礼を開始しピレネー山脈を越え25km先の目的地スペイン Roncesvalles のアルベルゲまでをネットで事前予約することができました。

3 旅立ち

(1) マドリード

万一の事態に備えた海外旅行保険への加入を絶対条件に家族の理解と協力を得て、令和6年4月下旬に成田を出国。あれもこれもと詰め込んだ13kg超のバックパックを担いで登山靴を履きハイキングの装い。私の語学力はといえば、スペイン語フランス語は全く出来ず英語も小学生レベル。唯一の味方はスマホのグーグル翻訳とグーグルマップ。語学力もない私がひとりで本当にフランスSJPPまでたどり着くことができるのか、不安な旅立ちとなりました。幸いに機内ではウィーンに声楽留学するという日本人女性と隣り合わせ楽しい時間を過ごすなど、アブダビでのトランジットも含め無事マドリードに入国することができました。空港から目的地のホステルまでは地下鉄を利用することとし、空港内のMetro表示に従い地下鉄改札口まで

はどうかたどりついたものの、タッチパネル式券売機の使い方が全く判らず立往生。後ろに並ぶ青年にホステルのスマホ画面地図を開いて見せ、最寄り駅まで切符を買いたいことを必死に伝える。券売機は目的地までの運賃をメ



巡礼路 花咲く道を歩く

トロカードにチャージするシステムらしく、青年のおかげでどうにかメトロカードの購入と運賃チャージが完了。グーグルマップ先生のお導きで目的地の駅La Latinaまで乗り換え2回3路線を経て無事ホステルに到着。ホステルのスタッフは流暢な英語を話し、私が理解できるまで何度も繰り返し伝えてくれとてもフレンドリー。1階（現地では0階）のカフェスペースで寛ぐ客は殆どが若者。荷物を預けチェックインタイムまでグーグルマップを頼りに市内見物。マヨール広場、サン・ミゲル市場、王宮周辺などをひとりで歩き回りマドリード到着を実感。BarでCerveza（ビール）とBocadillo（生ハムやチーズを挟んだバゲット）で昼食。ホステルに戻り2段ベッド6人部屋の下段を確保。上段は転落防止柵が小さいうえ年寄りには昇り降りが大変。部屋の4つのベッドには先客がいるらしくロッカーにはそれぞれ自前の南京錠やチェーンロックで施錠してあるが人は不在。私のベッドと上段のみが新しいリネンできれいにベッドメイクされロッカーも空っぽ。部屋に付属する共用のトイレ兼シャワー室で長旅の汗を洗い流し、ベッドのカーテンを閉じて一眠り。2～3時間ほど眠ったころ、物音に目を覚ます。カーテンを開けると、床にキャリーバッグを広げた青年が荷ほどき中。私の上段ベッドの客らしい。私は拙い英語であいさつ、自己紹介と旅の目的を伝える。青年はスコットランドから来た23才のマーク、英国空軍パイロット学校の学生で休暇を利用し5日間のマドリードひとり旅の由。日本のどこから来たのか、巡礼の期間や距離など彼の

質問に「単語」で答える。グーグル翻訳なしでも何とか意思疎通ができ一安心。Tokyoは知っていてもIbaraki,Mito,Hitachi,Tsukubaは「？」全く知らない。居住地の説明が面倒になり以後誰に聞かれても「Near Tokyo」で通すことになる。スペイン語は話せず英語も少ししか話せないと伝えたところ、彼はそれだけ英語が話せば十分と宣う。飲みに出ないかとの誘いを、時差ボケと明朝6時過ぎには Hostel を発ちパンプローナまで約400kmの鉄道旅があるので、早く就寝したいことを理由に断る。Hostel 地下のコイン式洗濯機で洗濯と乾燥を行いながら、1階カフェスペースで近くのスーパーで買ったパスタサラダと生ハム、クロワッサンと缶ビールで夕食。7時間の時差と機内での疲れも相当にこたえ、ビールの酔いも重なり部屋に戻り就寝。翌朝6時に起床すると同室の先客4人はベッドのカーテンを閉じ就寝中。いびきも聞こえるが一度も顔を合わさずにお別れ。上段のマークのベッドはきれいなままで昨夜は帰還しなかった様子。受付でチェックアウトしようとする、カフェスペースではマークを含む3人の若者がビールを飲んでいる。全員オールナイトだった様子でかなりご機嫌。私に気づくと全員が「Buen Camino!」と叫ぶ。私が「サンティアゴ巡礼」に向かうことを昨晚知り合ったスペイン人の若者たちに話した様子。この旅で初めて声掛けされた「Buen Camino!」。巡礼者同士の合言葉ともいえるこの言葉。スペイン語で「良い巡礼を!」というような意味があるらしい。以後、毎日何十回も「Buen Camino!」の挨拶を交わすことになる。マークや彼の新しい友達そして Hostel のスタッフと別れの握手を交わした後、グーグルマップを頼りに日の出前の街中を Madrid Atocha 駅まで歩く。この時期は4月からサマータイムが始まり日の出はおよそ午前7時過ぎ、日没は午後10時ごろ。街路灯に照らされた歩道には朝帰りの酔客がちらほら。あちこちの街路には回転ブラシ付き清掃車や水洗タンク車が出動。石畳や街路の清掃と水洗作業を行っている。こうした作業は巡礼開始後の道中でも都市や大きな町で早朝よく見かける光景となった。Madrid Atocha 駅でバックパックや手荷物品の厳重な保安検査を受け、高速鉄道に乗り Navarra 州の州都パンプローナに向かう。

(2) パンプローナ

3時間ほどで「牛追い祭り（サン・フェルミン祭）」でも有名なパンプローナに到着。どんよりとした曇り空でマドリッドより肌寒い。駅舎を出て旧市街に向かってアルガ川を渡り、パンプローナ大聖堂に隣接する宿 Albergue まで30分ほどゆっくりと坂道を上る。宿に到着するが入口のガラス戸はカーテンが閉ざされクロズド。オープンする正午まで入口前のベンチに座り待つことにする。隣のバルのテラス席には巡礼者が数組、靴を脱いで裸足になったりリラックスした様子でビールやワインを飲んでいる。ほどなく私と同年代のバックパックを担いだ白人男性が来て私の隣に座る。声をかけると私と同様明日フランス SJPP に向かいサンティアゴ巡礼を始める予定というオーストラリア人のミハエル。マドリッドから私と同じ列車だったらしい。自己紹介とともに今後の日程や巡礼宿の予約状況などを情報交換。巡礼初日の SJPP からは長い登りが続く難所、まずは8kmほど行ったオリソンに宿泊する予定とのこと。オリソンの宿はとてもおすすめらしいが私は予約が取れず、頑張っ て Roncesvalles まで行く予定と伝える。明日 SJPP まで行動を共にしようと思意投合。しばらくして宿の閉じられたカーテンが開きスタッフがチェックイン OK を告げると、テラス席でビールを飲んでいた巡礼者を先頭にあっという間に10人ほどの行列ができる。受付スタッフは各自にパスポート提示を求め、パスポートをスマホで読み込んでいる。情報が抜き取られるようで嫌な感じを受けたが、巡礼路のすべての宿でパスポートのスマホ読



サンフェルミン祭の練習

み取りが同じように行われていたので宿泊事業者の義務なのかもしれません。巡礼者は受付でパスポートやEU身分証明書を提示すると同時に、各自が持参したクレデンシャル（巡礼手帳）に宿ごとのスタンプを押印してもらう。ゴール地点Santiago de Compostelaに到着後、当地の巡礼事務所がクレデンシャルの押印状況を確認のうえ「巡礼証明書」を発行してくれる。このための重要な証拠となるのが、このクレデンシャル。私は当初、巡礼スタート地点のSJPPにある巡礼事務所でクレデンシャルを発行してもらう予定としていましたが、パンプローナから巡礼を開始する人も多くこの宿でも直接販売しているので早速買い求め宿のスタンプを押印してもらいました。翌日SJPPの巡礼事務所前に行くと100人以上の長い行列。パンプローナで入手したことが結果的に正解でした。クレデンシャルには、宿泊先やレストラン、バル、教会など行く先々でオリジナルスタンプを押印してもらうことになり、巡礼旅の終了時には4冊となりました。宿の受付を済ませ不織布使い捨て枕カバーとベッドカバーを受け取り、靴置き場で持参したサンダルに履き替え、指定された2階（現地では1階、日本の1階は0階）の14人部屋2段ベッドの下段を確保。2段ベッドは金属製、ベッドマットや枕はコロナ禍以降ビニールコーティング製に替えたとのこと。不織布カバーを使って各自がベッドメイク。掛け布団は無く持参の寝袋を初めて使用。各ベッドの枕元には小さなサイドランプと充電用コンセントが設置。ベッドに宿で使用する日用品やサプリメントなどを広げ整理していると、部屋に続々と巡礼者が入室してくる。老若男女様々、みんな疲れきった様子。隣のベッドに座った米国人青年が靴下を脱ぐと、両かかとの表皮が剥け痛々しい靴擦れが見える。青年は軟膏を塗り絆創膏を貼るが明らかに絆創膏が小さ過ぎる。私は持ち合わせていた大き目の傷パッドを手渡す。彼の話では、SJPPから巡礼を始めたが初日のナポレオンルート（ピレネー山脈越え）では雪が降り、翌日は雨にも降られ、おまけに靴擦れもでき3日間歩いてとても疲れたとの話。この他同室の誰もが異口同音にきつい道のりだったことを話す。日本語が少しできる40才代の韓国人女性の話では、SJPPの巡礼事務所ではナポ



巡礼路 残雪の山を望んで

レオンルートでなく国道沿いに緩やかに並走するバルカロスルートに行くよう薦めているとの話。明後日から巡礼開始予定の先行きが若干不安。部屋には下着姿も気にせず悠々とシャワー室に向かう若い女性や、2つの2段ベッド上段のパイプ手摺の間に細いロープを幾重にも張り巡らせ洗濯物を干す人、いびきをかいて昼寝する人など様々な人間模様。部屋を出て1階に降りると、フリーキッチンスペースでは大鍋で作ったラーメンを取り分けて食べている韓国人グループが4人。彼らに目礼してフリードリンクのインスタントココアに湯を注ぎ隣のテーブルに座るなり韓国語でまくし立てられる。私を同胞だと思ったらしい。日本人だと言うと驚かれ「辛ラーメン」は好きかと聞かれる。好きだと言うと深皿にラーメンを取り分けフォークと一緒に渡してくれる。赤く辛いラーメンを有難くいただく。巡礼旅ではしばしば韓国人と間違われ日本人からも韓国人だと思われたり……。ブローケン英会話と韓国ドラマで覚えた「アンニョンハセヨ、カムサハムニダ」でお礼を伝え街に出る。出発前に読み返した小説「日はまた昇る」に登場するカフェイルーニャを目指す。カステイージョ広場に入ると広場を取り囲むように建てられた5～6階建ての建物のひとつにひときわ存在感のあるカフェイルーニャが目に入る。あいにくの天気で軒先テントのテラス席に客はいない。1階部分は各建物をつなぐアーケード構造になっており、店の入口に立つメニューを広げた給仕姿の等身大お婆ちゃん人形をひと撫でて店内に入ると広いホールが目飛び込んでくる。左側にカウンター、右側は数十卓はある円卓や長方形卓などのテーブル席。シャンデリアラ

イトが各所に吊り下げられオレンジ色の光を放ち、壁に等間隔に据え付けられた大きな装飾鏡もきらきらと輝き奥行きを広げてる。天井、柱や梁にも重厚な装飾が施され、とりわけ彫刻の施された梁の上には観葉植物がずらっと並び、市松模様の床面ともマッチして華麗で優雅な雰囲気を醸し出している。カウンターでピンチョスをつまみにワインやビールで立ち飲みする客、テーブル席でグラスを手に盛り上がるグループ客など店内は喧騒と活気に満ちている。カウンターの店員に「ヘミングウェイはどこ？」と聞くと店の右手奥を指さす。指さす方向に歩き3段ほど階段を下がった別室のドアを開けると、当時そのままのバーカウンターに肘をついた等身大のヘミングウェイ立像が迎えてくれる。壁面にはヘミングウェイに関するモノクロ写真が掲示され「日はまた昇る」の場面が蘇るような感動を覚えました。憧れだったカフェイルーニャのカウンターでピンチョスを肴にビールでひとり立ち飲みを堪能しました。3日後には巡礼で知り合った仲間と連れだって再びカフェイルーニャで夕食のひと時を愉しむことになりました。

(3) サン・ジャン・ピエ・ド・ポーSJPP

翌日早朝から次の目的地を目指し西へと歩き出す同宿者たちを見送った後、オーストラリア人のミハエルと一緒にバスターミナルに向かう。途中、バルでカフェコンレチェ（ミルクコーヒー）とトルティージャ（ジャガイモのオムレツ）で朝食。正午発のSJPP行きバスに乗車。バスはほぼ満員。後日巡礼路で知り合う60才代の日本人女性もこのバス



朝日を受ける村の教会

に同乗していたとのこと。私を日本人かなと思ったそうですが、白人男性と一緒だったので声掛けしなかったとの後日談。バスは山道を昇り降りしながら小さな村々を通過、一般道路上に重なる区間が多いバルカロスルート歩く巡礼者と時折出会いながら小雨降る山あいを進み2時間ほどでフランスSJPPに到着。SJPPは人口1,500人程度の小さな村。村を貫く石畳の一本道沿いに宿、レストラン、巡礼用具店、食料品店、雑貨屋、土産物屋、教会、巡礼事務所などが建ち並ぶ。ミハエルも私と同じ宿とのこと。宿のロビーにバックパックを置きチェックインタイムの4時までふたりで村を散策。村の旧市街を囲む城壁から城跡へと登りピレネー山脈と思しき周囲の山々を見上げ新市街と田園風景を俯瞰する。スマホの翻訳ソフトを利用しようとしてネットにつながらないことに気づく。私の契約したeSIMはスペイン専用。わずかばかりフランス側に入っただけで繋がらない。ミハエルとの意思疎通は言葉を交わさなくても何となく分かり合える不思議な関係。私が話す日本語を理解できているかのようなリアクション。ワインを飲みながら昼食を共にする。難しい話ができないが言葉は何とかなることを実感。宿に戻ると狭いロビーはチェックインを待つ人で溢れている。怡幅の良いオスピタレロ（アルベルゲの管理人）が現れ大きなデスクに鎮座する。大きな声でフランス語、スペイン語、英語の順に説明し受付を開始。巡礼開始に際して朝食をしっかり食べて出発の方が良いよと言っているらしい。この間にも石畳通りに面した入口の狭い通路から次々と宿泊客が入ってくる。ミハエルは4階私は3階の部屋。受付の際に赤いパスポートを握りしめた30才代の同胞女性を発見し声をかける、日本人第1号のAさんと出会う。彼女とは巡礼路で頻繁に再会することとなる。明日のルート予定を聞くと、雪が降ったピレネー越えのナポレオンコースは避けて一般道に沿ったバルカロスルートに行くよう巡礼事務所から強く言われたとのこと。初日のピレネー越えの醍醐味を経験できず残念がっていた。私はどちらのルートに行くか思案しつつ3階（現地表示は2階）の10人部屋に行くと既に韓国人女性2名と韓国人男性が各自のベッドで荷ほどき中。先客にあいさつし空きベッドの下段を確保。50才代後半

と思いきイケメン韓国人男性は日本語が堪能。大学で第二外国語として勉強しただけと言うが会話はほぼ不自由ない。ソウルでアセットマネジメント会社のCEOを務めるキムさん60才元銀行員、独立して起業。女性達とは別で単独行とのこと。私も単独行と告げると、一緒にRoncesvallesまでピレネー越えで行きましょうと誘われる。巡礼事務所では雪が降ったピレネー越えのナポレオンルートは避けて一般道路を歩くバルカロスルートを薦めているので迷っていることを話す。キムさんの話では、明日6時半にツアーガイドが同行する韓国人団体グループ12名が隣のアルベルゲから出発すること、ガイドの了解は得ているのでグループの後をついていきましょうとの誘いに乗ることにする。部屋には次々と巡礼者が到着。若いドイツ人女性、カナダ人青年、ハンガリー人夫婦、遅くに来たフランス人女性を加えて今夜は9人が同部屋泊。しばらくしてクレデンシャルの発行のため巡礼事務所に行くというミハエルが顔を出し互いの巡礼の無事を誓い握手で別れる。以降ゆっくりペースで巡礼するミハエルとはWhatsAppアプリを使い現在地や歩いての感想など連絡を取り合いました。因みにLINEアプリの使用者は韓国人と日本人のみ。他国の人全てがWhatsAppアプリを使用。スペイン国内での通話もWhatsApp利用が普通です。LINEアプリは国際的にはガラパゴスなのかもしれません。

4 サンティアゴ巡礼

(1) 巡礼開始780kmの旅

太陽を背に西へ西へと進む約780kmの巡礼歩き旅の初日。早朝6時半夜明け前、朝食を済ませ宿の前の街路灯に照らされた石畳でキムさんと一緒に韓国人グループの集合を待つ。キムさんが若い韓国人ガイドにそっと挨拶、私もガイドに自己紹介。グループは50～60才代の男女。50m程の距離を取り彼らの後を追う。ナポレオンがスペイン遠征の際に通った道との故事からナポレオンルートと名付けられたらしい。SJPPの標高は200m。標高1,430mのLepoeder峠をピークに二つの峠を越え25km先のスペインRoncesvallesを目指す。石畳から続く村の城壁門を抜け、ヘッドランプの灯りを頼りに真っ暗な坂道を上る。暫く登り後ろを振り返ると、薄墨色に染まる雲間からオレンジ色の日の出が見える。道の両側の牧草地には赤茶色の屋根と白い壁の農家が点在し、時折鶏や家畜の鳴き声が木立からは鳥のさえずりが聞こえる。さらに上り続けるとSJPPや谷間の村々が幻想的な雲海で覆われ、上空を仰ぐと青い空と高く白い雲、そして目の前には低く垂れ込む鼠色の雲。朝日とともに多彩で荘厳な景観を形作っている。しばしその美しさに見とれる。キムさんの携帯電話にはソウルの会社から何度も電話が入る。留守中は任せると言ったのにと、彼はぼやく。ついでに奥様とのビデオ電話に私も入り、美しい奥様にご挨拶。アスファルト道路や続く土の道をひたすら歩いていく。何人もの人を追い越したり追い越されたりを繰り返す。その都度



巡礼手帳（表紙）



巡礼手帳(巡礼宿、バル、教会等スタンプ)

「Buen Camino!」と互いに声を掛け合う。背中のバックパックに小さな国旗を付けた人や国旗のワッペンを貼り付けた人など様々な国籍の人々が歩いている。長く伸びた韓国人グループの隊列を途中で追い越し、キムさんがガイドに先行することを伝える。約3時間ほどで標高800mのオリソンに到着し、一軒宿が営むバルで搾りたてオレンジジュースとアップルパイで栄養補給。休憩を終え歩き始めるとウッドデッキの先にある女性用トイレ前で順番を待つ列の中から「日本人ですか?」と声をかけられる。小柄な高齢日本人女性が立っている。トイレ待機列での長話もできずに互いの名前と住所地を名乗り「Buen Camino!」と挨拶を交わし直ぐに別れる。同時期に歩く巡礼者とはその後巡礼路上で何度も出会うのが通例。この女性とは一度きりでその後会っていない。後日知り合う日本人仲間に聞くと、82歳の東京都の女性とのこと。短く刻んで長期間かけて元気に歩いていた様子。上り続け標高1,000mを超えたころ、前方にバックパックに小さな鯉のぼり人形を付けた男性を発見。声をかけると千葉県から来た71才男性Xさん。サハラマラソン完走歴があるという猛者。翌日Zbiriの公営宿で偶然再会することになり知り合った台湾人ジェフと3人で夕食を共にしました。山の稜線に沿った上り坂の連続はとてもきついはずですが、見下ろせばピレネーの雄大なパノラマ景観や巡礼者同士の励ましあいと高揚感もあり、山頂付近の日当たりのよい芝生に座っての優雅なランチタイムを挟み



巡礼路の標識

とても楽しい山行となりました。当初心配していた雪は山肌には相当あるものの道の端にうっすらと残る程度、しかし国境らしき柵を超え降り坂にさしかかると、道がひどいぬかるみとなり泥が靴底に団子のようにへばりつき滑りやすく相当な距離慎重な歩きを余儀なくされました。泥だらけになりながらも初日の行程を約8時間をかけて無事に終え、Roncesvallesのアルベルゲに午後3時前に到着。Roncesvallesはスペイン側の小さな集落。修道院を改築した180人収容の大きなアルベルゲと近くに2軒のレストランがあるだけ。キムさんはもう一つ先の集落のアルベルゲまで向かいここで別れる。アルベルゲでは、集落のお年寄りがオスピタレロ（男性）オスピタレラ（女性）としてボランティアで巡礼者に細々とした案内をしている。チェックインを済ませると靴置き場や部屋に案内してくれる。夕食朝食のための食事券を受け取ると夕食時間は19:00の表示。レストランは1時間ごとの入れ替え制らしく遅いグループは21:00。集落の2軒のレストランがそれぞれ食事会場となる。日本から事前予約していたが、2段ベッドの上段が割り当てられ昇り降りがとても厄介。施設は巨大でシャワールームも居室の各階に男女別にある。シャワー室は床が水浸し。隣で使用している女性用シャワー室からも飛び散ったシャワー水が足元に流れ来る。床用の水切りワイパーが通路に置いてはあるが……。脱衣場所は見当たらずどこで脱ぎ着するの?というような感じ。以降ほとんどの宿も脱衣スペースはなく、びしょ濡れのシャワールームでビニール袋に入れた着替えをドアノブに吊り下げて使用。ときどき着替えが床に落ち水浸しになる悲劇にも見舞われた。浴用石鹸の備え付けは殆ど無く自前が原則。私は入浴洗髪はもちろん洗濯まで同じ石鹸一つで行いました。洗濯は手洗いやコイン式洗濯機が普通ですが、このアルベルゲでは地下の洗濯室に行って料金を払うと洗濯乾燥したうえでオスピタレラが仕上がった洗濯物を籠に入れてベッドまで届けてくれる。ただし洗濯物の取り間違いも多い。冷たい小雨が降る中、ダウンを着込み19:00夕食会場に指定されたレストランに向かう。円卓を囲んでのコミュニティディナー。ワインか水かを選択。大皿や大鍋の料理を円卓で8人ほどが取り分けて食

べる。国籍や年齢、職業、巡礼行程などを話題に食事しながら楽しい時間を過ごす。右隣はフランス人のジャン79才食欲旺盛でワインも良く飲む、これが健康の秘訣とのこと。左隣は韓国人の20代後半ミスキム、勤務していた会社が倒産、次の仕事を探すまでの間を利用したの巡礼。会話は英語ですが何となく理解できます。英語のできないスペイン人とはグーグル翻訳機能が活躍。数日後ミスキムとは宿が偶然一緒になり二人でパエリアの夕食を愉oshimしました。

ここまで長々と書き連ねましたが一期一会の出会いが日々繰り返され、ナバラ州、リオハ州、カスティーリャ・イ・レオン州、ガリシア州と4州を歩き続け目的地サンティアゴ・デ・コンポステーラ到着までの35日間、地域ごとの自然環境や景観と文化の移ろいに向き合い、そして多くの人々と出会いと別れを繰り返してきました。日々の事象を綴ることはこの辺で割愛し巡礼旅全体を通して経験したことや感想を以下に記します。

(2) 多くの人々との出会い

①巡礼路で出会った日本人

すでに出会った方々を何人か紹介しましたが、旅で出会った日本人や印象深い外国人などについて改めて紹介します。日本人第1号としてSJPPで出会った金沢市の30才代女性Aさん。カミーノ巡礼を経験した人生の師匠と仰ぐ方の勧めで転職のはざまを利用しチャレンジ。私のように宿をBooking.comで予約するのではなく飛び込みでの宿探し。難儀した日もたくさん。持ち前の明るさとタブレットを使った似顔絵書きの特技を武器に数々の困難を切り開く。次に、巡礼2日目の雨降りしきる休憩中に知り合った静岡県のBさん80才男性。奥様に先立たれ一人暮らし。75才から始めた趣味の山登り。ついには今年1月キリマンジャロ(標高5,895m)登頂に成功。小柄ながら年齢を感じさせないモダンな男性。アルベルゲの予約が取れず4日間ほど二人でホステルのツインルームやアパートの貸し部屋などをルームシェア。時にはBさん自慢の手料理を堪能。アルベルゲでのコミュニティディナーで、カンツォーネを原語で熱唱、大好評を博す。年齢にこだわらず何でもチャレンジ出来

ない壁を作らないなど様々な人生訓を頂戴する。韓国人CEOのキムさんにもBさんを紹介し、パンブローナのカフェイルーニャで楽しい夕食を過ごす。巡礼6日目Bさんと同宿したアルベルゲの階段で懐かしい日本語を聞く。所沢市の60才

代女性Cさん、和歌山県の40才代女性Dさんと知り合う。Aさんも偶然同宿が判明。アルベルゲのキッチンでパスタパーティーを5人で開く。巡礼11日目、巡礼路のバル休憩で札幌市60才代男性Eさん、東京都50才代女性Fさん、中米で青年海外協力隊員経験もありスペイン語が堪能な40才代女性Gさんの3人と知り合う。札幌市のEさんとは旅の終盤しばしば行動を共にすることになる。巡礼16日目、峠道で以前から日本人仲間に聞いていた気象庁OBのHさん78才男性が休憩しているところを発見。足の魚の目が悪化巡礼継続を断念し帰国日まで観光に徹するという。気象庁時代は南極観測隊にも参加。英語スペイン語に堪能。私を含め、以上の9人でグループLINEを結成。全員が単独行、偶然みんなが繋がりました。サンティアゴ・デ・コンポステーラ到着まで観光に徹したHさんを含め幾度となく出会ったり別れたり。宿やお勧めのレストラン、現在地、体調などLINEで情報交換し帰国後も関係を継続中。この他3名で歩いている高齢者グループ2組(最高齢は菅笠を被る83才男性)を含め日本人老若男女10名と知り合う。中でも印象深いのは奈良県から来たUさん80才。巡礼21日目、見渡す限りにうねる麦畑の中、どこまでも続く白く乾いた一本道メセタの大地を早朝から歩いていくと、東洋人らしき高齢男性がはるか前方を歩いている。男性は少し大きな集落の入口にあるバルに入っていく。私も後を追ひバルに入り、ミルクコーヒーと定番のスペインオムレツを注文。バルは朝食や休憩に立ち寄る巡礼者でほぼ満員。4人掛けテーブルで斜め向かい合わせに先客2名が食事中、一



巡礼路メセタの大地

席にはトレイに乗せた手つかずのコーヒーとクロワッサンが置かれている。私は先客に隣に座って良
いか了解を貰いカウンターで注文した品を受け取
り残り席に着席。同時にトイレを済ませた東洋人高
齢男性が斜め向かい席にやってくる。経験上日本人
の場合、mont・bellウェアや用品用具を持つ方が
ほとんど。フリースジャケットの上に薄手のウイン
ドブレーカーを羽織っているが男性の着衣や装備
はロゴもなく全くの無印。風貌は20cm程もある白
い顎髭と口髭を生やし日に焼け黒い帽子からは長
く伸びた白髪がはみ出ている。熱心なカトリック信
者の台湾人か韓国人かと想像する。私は先客2人
を含む3人に、いつものようにI am Japanese. My
name is……。Nice to meet you.と挨拶。先客はそ
れぞれベルギー人、ポーランド人と名乗る。東洋人
男性は着席するとコーヒーとクロワッサンに向か
いうやうやく合掌し、一言「私も日本人です。」
と答える。私は大慌てで「失礼しました」と謝罪。
いいんですよ、謎の東洋人に見えたんでしょうね
と笑う。次の町まで一緒に歩きながらUさんの経歴
を聞く。戦災孤児として奈良の寺で養育され大学進
学まで許されたこと。今でも父のように導いてくれ
た亡き僧侶に感謝していること。学生運動に失望し
以来、海外放浪の旅がライフワーク。若い時に行け
なかった旧共産圏も含め現在までに120カ国程度
を旅したこと。このため31才から定職についてい
ないこと。写真と登山が趣味だったこと。ヨーロッ
パからの帰途インドで宿に置いていた撮影済みの
フィルムだけが盗まれ未開封のフィルムがそのま
ま残っていたこと、価値を理解できていない程の
圧倒的な貧しさがなせる行為に悲憤を覚え以来カ
メラは持たずに旅をしていること。旅好きな妻とは
60才で結婚したこと。この旅でも携帯電話は持た
ないこと。妻は足を悪くし同行できないが、1カ月
に一度絵葉書で消息を伝える約束をしていること。
義理の息子には自分に何かあれば日本大使館から
連絡があるから心配ないと伝えていること。サンテ
ィアゴ巡礼を終えた後は若い時に旅したモロッコ
の変貌ぶりを見るため再訪の旅をのんびりと続け
る予定であることなど……。バックパッカーの元
祖のような方で、旅で遭遇した数々の危機や被害
の経験談も誰恨むこと無く他人事のように淡々と

話す。英語、スペイン語はそこそこらしい。携帯電
話も持たず宿の予約はどうするのか尋ねると、宿
泊した宿の主人に相談して次の町の宿を紹介して
もらっているとのこと。巡礼路でも超人気者。各国
の巡礼者からは「ヒロ!」とファーストネームで声
をかけられる。Uさんから「異文化のこの国を日々
歩きながら自分とは何者なのか、幸せって何なの
かを良く考えてみてはいかがですか」と哲学的助
言をいただく。我が人生に悔いなしと語る仙人のよ
うなUさん、忘れられない出会いとなる。

②思い出深い外国人

巡礼の途中、宿泊したアルベルゲ、バル、レス
トラン、教会、道沿いの無料接待所などで多くの
人々と出会う。地元のスペイン人はみんなとてもフ
レンドリー。都市部ではカミーノの標識（ホタテガ
イのマークや黄色の矢印）を見落としがち。道を間
違え歩いていると声をかけて教えてくれたり、わ
ざわざ正しい道まで案内してくれたりする親切な
方が多い。しかし早朝誰もいないときにはミスコー
スがしばしば。道ですれ違う時など「Hola!Bunos
dias.(こんにちは)」と挨拶すると必ず笑顔で「Buen
Camino!」と返してくれる。無視されたことは一度
もない。どんな店でもほったくりは無く安心。無料
接待所も巡礼路には多くありとても親切。帰り際に
募金箱に寄付する仕組み。疲れた時機にオアシスの
ように突然現れバナナやビスケット、コーヒーな
どを提供してくれている。自宅のガレージにテーブ
ルやいすを並べて飲み物やお菓子、果物を提供し
てくれている方々も多い。巡礼者とのコミュニケー
ションを楽しみにしている様子。私もUさんに倣い、
次の宿の予約や巡礼終着地からマドリードに戻る
バスや鉄道チケットの予約など、宿のスタッフに
何度かお願いしたが皆とても快く応じてくれた。旅
で出会った全てのスペイン人に心から感謝したい。

各国の多く
の巡礼者にも
出会った。国籍
は地元スペイ
ン、欧州各国、
米国、カナダ、
オーストラリア、
ニュージーラン



巡礼路の接待所

ド、メキシコ、ブラジル、ボリビア、ペルー、韓国、台湾、マレーシア、インドネシアなど多彩。ドイツ人は40代50代の働き盛りの男性が多い印象。勤続年数に応じた長期休暇（5～6週）が労使双方の義務らしく、これを利用したひとり旅が多い。夫婦や親子で歩く方も多い。親子は、父と息子（多数）、父と娘（ドイツ人70才父42才娘など2組）、母と娘（2組）のパターンに出会うが、母と息子には出会っていない。また、家族で歩くニュージーランド人は夫婦と13才の娘10才の息子（長髪で最初女の子の息子と思ひ込む）と4人で歩く。学校は？と父親に聞くと「broken」との答え。学校よりも家族の絆を優先しているらしい。家族は見事にゴール。巡礼者全体の約2割程度が韓国人と思われる。韓国人は敬虔なカトリック信者も多く教会の閉ざされた入口の前で帽子を小脇に抱え夫婦でじっと祈り続ける場面に何度も遭遇。また韓国ではサンティアゴ巡礼がブームらしく旅行会社が販売する商品も多いと聞く。韓国人の若者巡礼者も多く英語も堪能。日本人の若者はとても少ない。同じ時期に歩いているので顔見知りの巡礼者に幾度となく会う。出会いを重ねるうち何日かぶりに会うとハグしあうほどに親しくなる。「オー、スズキ！」と飛びついてくる。私は特に韓国人から親近感を持たれるらしく、英語が堪能なニュージーランド在住の韓国人マダムとも親しくなり、その友達の英語が全くできない韓国人おばちゃんとも出会う度におやつを交換、休憩ベンチに座り日本語と韓国語だけで阿吽の意思疎通ができるまでになりました。中でも頻繁に出会ったのがボリビア人のYurikoさん59才。巡礼5日目に出会う。父親は日本人だが幼いときに亡くなられたようで日本語はできない。自分の名前が日本の花に由来することは知っている。英語は堪能。訪日の経験はない。お母さんはメスティーソ（先住民とヨーロッパ人の混血）。彼女は日本人にとっても親近感を持っている。初めて出会ったときは彼女からAre you Japanese?と話しかけてきた。スマホで巡礼路に咲く花や景色、出会った人との写真を沢山撮っている。子供たちに毎日送るという。歩く速度は遅いが神出鬼没。時に私より先に到着していることも多い。私が目的地の町にようやく到着すると、バルのテラスでアイスクリームを食べている彼女に



牛とともに巡礼路を歩く

出会う。私のはるか後を歩いているはずなのに、なぜそんなに早いのか聞くとどうやらワープしていたらしい。スペイン語が母語なのでタクシーやバスを上手に使う。彼女の宿はいつもホテルかホステルの個室。仙人のようなUさんも彼女のことを知っていて、ボリビアはとても貧しい国なんだけど彼女は違うようだねと話す。ある日出会った彼女に巡礼路を歩く理由を問われる。キリスト教徒ではないがスペインの自然や文化への興味と体験を目的に歩いていると伝える。彼女の理由を尋ねると12才で事故死した長男の25回目の命日にSantiago de Compostelaに到着することを目標に、行く先々の教会で祈りを重ねているらしい。長男を含め5人の子どもがいるとスマホの写真を見せてくれる。エンジニアの次男はコスタリカで家庭を持ち、長女はブラジルで外科医、双子の次女は建築設計士、三女は銀行員。双子姉妹とボリビアのサンタクルスで暮らしている。夫はいない。写真に写る子どもたちはヨーロッパ人の容顔で日本人の痕跡は全くないことに驚く。私はYurikoさんに誘われ2度教会の「ミサ」に参列する機会がありました。初めてのミサ体験でしたが壮麗で静謐な聖堂には長椅子に座り切れないほどの老若男女が集い、司祭が朗々と歌う荘厳な讃美歌に合わせ合唱する様に圧倒されました。あなたは司祭からパンを貰ってはダメとYurikoさんから非クリスチャンの私へ注意を受けており、皆が十字を切る際には祭壇に向かい頭を垂れYurikoさんの長男の冥福を祈りました。ミサには顔見知りの巡礼者が数多く参列していることに気づき、会うたびにおどけている男性が真剣に

祈る姿を目の当たりにして、この巡礼旅を正に「宗教の道」として各地の聖堂で日々祈り続けることを目的とする多くの人々がいるということを再認識しました。

(3) サンティアゴ・デ・コンポステーラまで 歩き続けて

フランスSJPPから巡礼を開始し、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂到着まで約780kmを休養2日を含め35日間で歩ききりました。因みに、初日一緒に歩いた韓国人CEOのキムさんは強靱な体力を生かしハイペースで歩き続け26日間でゴールしています。休養なしで実に一日平均30kmを歩いたようです。スペイン4州を歩きましたが、それぞれの地域に独自の言語（バスク語、ガリシア語）や文化があり道路標識などには上に地域言語が下にスペイン語が併記され学校でも地域言語教育が行われているそうです。カスティーリャ・イ・レオン州はカスティーリャ王国とレオン王国が統合したことが起源、巡礼路沿いの標識もそれぞれの優勢地域では相手側の「カスティーリャ」または「レオン」の文字が白や黒スプレーで消されている落書きがとて多く、根深い地域間の対立を垣間見ました。また道路上にスプレーで大きくいたずら書きされた「ナチスを表す鉤十字＝イスラエルのダビデの星」マークが巡礼路のあちこちで散見されたり、パレスチナの旗が半旗として掲げられている様子に何度も遭遇。中東からの移民も多いスペインではガザでの軍事衝突が身近な問題であることを実感しました。一刻も早い平和的解決を望むばかりです。巡礼の証とも言える「巡礼証明書」の交付を受けるには、サンティアゴ・デ・コンポステーラまで100km以上を徒歩・自転車・乗馬で行うことが条件です。約100km付近にあるSariaからは5日間ほどかけて巡礼を始める人々がとて多くなり、巡礼路はさながら遠足のような賑わいで宿も予約が難しくなっています。地元スペイン人巡礼者が多く家族や友人と連れだってお喋りしながら楽し気に歩いています。大きな旗を背中に纏って歩く美女グループに旗の由来を聞くとスペイン領カナリア諸島の州旗とのこと。アフリカ大陸の西側、大西洋上の島から来たようです。この他にも地中海の

スペイン領マヨルカ島から来た家族は4月に日本へ旅行し桜を見たと興奮気味に話す。日本のお伊勢参り旅のようなノリの巡礼です。巡礼旅では日本人と全く会わない日も数日あり英語のみでの意思疎通にストレスを感じることもありましたが、レストランで一人メシの最中に顔見知りの巡礼者から「ボナペティ！」と声をかけられことも多く、日々の新たな出会いとまだ見ぬ巡礼路への期待で毎日がとても楽しく短く感じられました。毎朝出がけにワセリンを足に塗り込んでから歩いたことが良かったのかマメが出来ることなく予定通りに次の目的地へと歩みを進めることができました。唯一の難題は道中でのトイレ問題です。バルが近くにあれば良しとして何もない巡礼路では「キジ撃ち、お花摘み」の姿をよく見かけます。仲間歩く人は道路側に見張り役を立てるので、誰かが用を足していることがすくにわかります。私も何度か「キジ撃ち」のため木陰や農地の納屋裏に入り用を足そうとしましたが先客の残していったモノを踏みつける悲劇やふと気づけばすぐ隣に並び用をたしているという状況に互いに気づき思わず顔を見合わせ苦笑



サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂 到着

いするというような経験もしました。

一方、自己紹介で職業を問われた際に「Retired veterinarian」と答えると、皆一様に感嘆の声をあげます。欧米での獣医師に対する社会的評価が高いことの表れを実感しました。でも何でこいつは獣医師なのに英語が分からないんだろうというような怪訝な顔をされることもしばしばです。巡礼路で垣間見たペット事情について触れてみます。道の先から突然シェパード系の大型犬がこちらに向かって疾走してくる状況に度々遭遇。前を歩く巡礼者が驚き転倒することもあり襲われるかと恐怖を感じました。たいがい後からのんびりと飼い主が現れます。郊外の村では大型犬の飼育が多くノーリードでの散歩がごく普通ようです。巡礼宿でも大型のマスコット犬が飼われ受付の床に寝そべり巡礼者と触れ合い癒しを提供しています。犬を連れて巡礼路を歩くフランス人にも出会いました。テント泊とアルベルゲ泊を併用。犬が先頭に立ち荷物を載せた一輪車を後ろ手に引き歩きます。彼が私と同じアルベルゲに宿泊したとき、犬は自転車小屋で飼い主が持参した専用ベッドにもぐり込み一夜を過ごしていました。また中世からのペスト対策の名残でしょうか猫はとても多い印象を受けました。バルのテラス席の足元にはいつも2、3匹がお裾分けを待っています。巡礼者たちの疲れを癒す存在です。通りの民家の日当たりのよい窓辺に置かれたプランターの間で花に囲まれまどろむ猫もよく目にします。その愛らしい姿に思わず巡礼者がスマホを向けます。巡礼路沿いの牧草地ではのんびりと草を食む馬を頻繁に見ます。巡礼手段のひとつに乗馬がありますが現在は少ないようで私は残念ながら会っていません。牧草地に付随する馬場も多く見受け飼育目的は乗馬のようです。土日には4、5頭連れだって乗馬を楽しむ人々とすれ違うことも多々ありました。巡礼路は幅広の土の道も多く自動車もほとんど通らないので、乗馬の長距離走には絶好のコースなのかもしれません。手を振ると、すれ違う馬上から「Buen Camino!」と声をかけられます。

また宿では巡礼者同士が寝食を共にし文字通り裸の付き合いとなります。観察すると、欧米人の多くが体の各部位にタトゥーを施しており私の体感では約半数以上に上ると思います。パートナー、父

母、子供たちの名前、漢字などの文字、花・動物の絵柄、十字架など宗教的な絵柄など部位や大きさを含め色も多彩で実に様々です。サンティアゴ・デ・コンポステーラでは到着後に記念のタトゥーを施す人が特に多いらしく、街中でタトゥーの専門店を多数見かけました。「巡礼証明書」を提示するとホタテガイの巡礼シンボルマーク柄のタトゥー料金を40€に値引きするという広告も良く見かけます。同宿の巡礼者に日本人はなぜタトゥーをしないのかと聞かれ、日本ではタトゥーは犯罪者のイメージが強いと話すととても驚く。巡礼路では日本人が比較的少ないせいなのか、道中の大聖堂や古城など歴史的な施設の案内パンフレットや案内板などには欧米各国語に加え中国語、韓国語の記載はありますが日本語の記載は全くなく、日本の国際的地位が相対的に低下している表れなのだろうかとも感じました。彼我の文化の相違を実体験したり非日常の風景に癒され、昼はもっぱらバルでビールを夜は当地のハウスワインを味わいながら日々歩く長い巡礼路の旅でした。こうして当初無理かなと思っていた巡礼旅の完全踏破が見込める頃、どうせここまで来たのだからゴールのサンティアゴ・デ・コンポステーラからさらに足を延ばし大西洋に面した最果ての地、フィステーラ岬に沈む夕日を見に行こうと巡礼の延長を決意しました。

(4) スペイン最西端フィステーラ岬をめざす

サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂に到着し巡礼仲間たちと到着の感動を分かち合い一日休養を取り大聖堂見物などを愉しんだ後、仲間に別れを告げ早朝から3日間の旅程で「地の果て」という意味を持つ約90km先のフィステーラを目指し歩き始めました。ほとんどの巡礼者がサンティアゴ・デ・コンポステーラで巡礼を終了し、バスでフィステーラ岬観光に行くのが普通です。巡礼者の数もめっきり減り前後を歩く人も無い山道を歩き続けると不安が募りましたが、休憩に入ったバルで顔見知りのメキシコ人エンリケと出会い安堵しました。日本人とは全く合わずに歩き続け、途中アルベルゲでのコミュニティディナーの2泊を経て3日目、険しく岩だらけの峠道を幾つか超え遙か遠くに青く煌めく大西洋が見えた瞬間、涙が出る

ほどの感動を覚え思わず大声をあげました。続く峠道を走るように下り降り長い海岸線沿いを左手に大西洋を見ながら巡り歩き漁港フィステーラの街に到着した時には、イベリア半島を横断して無事に歩ききれたことの達成感と旅に関わった沢山の方々への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。巡礼宿に着きルーチンワークとなったシャワーと洗濯を済ませ2つ目の巡礼証明書を観光案内所で貰い、昼食がてらレストランでビールとワインでひとり祝杯を挙げました。宿で一休みし夕食をとった後、午後9時前にフィステーラ岬灯台に缶ビールを携えて登り着き午後10時11分の日没を待つ。大西洋に面した灯台前の急峻な崖際には、サンセットショーを待つ多くの人々がワインやビールを片手に天然の栈敷席で日没の瞬間を待っている。大西洋は風いで眼下に漂うサンセットクルーズ船からは軽快な音楽や時折アナウンスが聞こえてくる。心地よい風に吹かれ持参したビールや頂いたワインを飲みながら待っているとやがて水平線がオレンジ色に染まりはじめ、壮大なサンセットショーが始まる。見物人から歓声や口笛、拍手が沸き起こる。ヨーロッパの地の果てとも言われるフィステーラ岬で大西洋に沈む壮大な夕日を見て目に焼き付けることができ、サンティアゴ到着時とはまた違う新たな感慨を覚えました。本当にここにきて良かったなあ……と。



フィステーラ岬大西洋に沈む夕日

5 巡礼旅を終えて

サンティアゴ巡礼780kmに加えて大西洋フィステーラ岬までさらに90km足を延ばし都合870kmを歩ききりました。様々な人と出会い学びそして別れ、一期一会を繰り返しスペインの自然や文化を満喫した51日間の旅でした。欲を言えば、もう少し英語を話すことができればもっと楽しい旅になったことと思います。冒険心溢れる多くの日本人先輩方にも出会い、一度きりの人生やりたいことを出来るときに実行することの大事さにも改めて気づきました。仙人のようなUさんからいただいた言葉「自分とは何者なのか、幸せって何なのか」を巡礼路を歩きながら考え続けましたが、残念ながら明確な答えはいまだに出ていません。これからも考え続ける課題なのかもしれません。この旅の途中で69才を迎え、日本人仲間や同宿者皆に祝ってもらいました。旅に出る前には「もう」70代今しかないという焦りにも似た思いが勝っていましたが、旅で出会った先輩方に接し「まだ」70代というように年齢に対する考えにも変化が見えたようです。もう一度巡礼旅に行きたいかと問われれば、答えは「Yes! Buen Camino!」私の人生で忘れえぬ貴重な経験となりました。

さて落ち着いた今、私が秘密にしている「死ぬまでにやりたいこと」リストを今一度棚卸し、そこに新たな項目を書き起こそうかと考える今日この頃です。貴重な会報の誌面を快く御恵与下さり、長々となった駄文に最後までお付き合いくださいまして誠にありがとうございました。拙文をきっかけに「サンティアゴ巡礼」を今後目指そうと考える方が現れましたら幸いです。

Muchas gracias! Buen Camino!

スペイン巡礼行程表（2024年 4/22～6/11 51日間）

日 数	日 程	行 程・宿泊地	距 離	残距離	宿泊先名	備 考
1	4月22日	EY871成田17:30 →AbuDhabi 00:05			EY75AUH02:45→MAD08:25	
2	4月23日	マドリッド着08:25			OK Hostel Madrid	33€
3	4月24日	Pamplona10:35着MadridAtocha駅 07:35発			Albergue Plaza Catedral	20€ カフェイルーニャ
4	4月25日	SJPP13:45着ALSAバスPamplona12:00発		766.2	Gîte Le Chemin vers l'Etoile	21€(フランス)
5	1 4月26日	SJPP～Roncesvalles(Espana Navarra)	24.2	742	Albergue de Peregrinos de Orreaga-Roncesvalles	40€
6	2 4月27日	Roncesvalles～Zubiri	21.4	720.6	Albergue de Zubiri	16€
7	3 4月28日	Zubiri～Pamplona	20.4	700.2	Albergue Plaza Catedral	20€
8	4 4月29日	Pamplona～Puente la Reina	23.9	676.3	Albergue Puente para peregrinos	17€
9	5 4月30日	Puente la Reina～Estella	21.6	654.7	Area 99	45€(ダブルベッド)1人部屋
10	6 5月1日	Estella(2日目)	休養日		Alda Estella Hostel	20€
11	7 5月2日	Estella～Los Arcos	21.3	633.4	Hotel Villa de los Arcos	80€(ツイン2人でシェア)
12	8 5月3日	Los Arcos～Viana	18.4	615.4	Viana txiki	90€(貸し部屋2人でシェア)
13	9 5月4日	Viana～Navarrete	22	593.4	El Camino de las Estellas	14€
14	10 5月5日	Navarrete～Najera	16.6	576.8	Hostal Hispano	38€(シングルルーム)
15	11 5月6日	Najera～Santo Domingo de la Calzada	20.7	556.1	Alfonso pena	52€(貸し部屋2人でシェア)
16	12 5月7日	Santo Domingo de la Calzada～Belorado	22	534.1	Albergue Cuatro Cantones	15€
17	13 5月8日	Belorado～Agues	27.5	506.6	Albergue INpulso Atapuerca	18€
18	14 5月9日	Agues～Burgos	22.2	484.4	Hostal Cuentame Evolucion	46€(バジェットダブルルーム)
19	15 5月10日	Burgos～Hontanas	31.5	452.9	Santa Brigida-Real 1	75€(ツイン2人でシェア)
20	16 5月11日	Hontanas～Fromista	34.1	418.8	Albergue Estella Del Camino	17€
21	17 5月12日	Fromista～Carrion de los Condes	18.8	400.0	Hostal Santiago	45€(シングルルーム)
22	18 5月13日	Carrion de los Condes～Terradillos de los Templarios	26.3	373.7	Albergue LaMorena	23€
23	19 5月14日	Teradillos de los Templarios～Bercianos del Real Camino	23.2	350.5	Bercianos1900	18€
24	20 5月15日	Bercianos del Real Camino～Reliegos	20.4	330.1	Las Hadas Albergue	18€
25	21 5月16日	Reliegos～Leon	24.4	305.7	Hostel Quartier Leon Jabalquinto	18€
26	22 5月17日	Leon(2日目)	休養日		Hostel Covent Garden	22€
27	23 5月18日	Leon～San Martin del Camino	24.6	281.1	Albergue La Huella	17€
28	24 5月19日	San Martin del Camino～Astorga	23.7	257.4	Albergue So Por Hoje	24€
29	25 5月20日	Astorga～Rabanal del Camino	20.2	237.2	Albergue La Senda	14€
30	26 5月21日	Rabanal del Camino～Ponferrada	32.4	204.8	Hostal San Miguel	39€(ダブルベッド)1人部屋
31	27 5月22日	Ponferrada～Villafranca del Bierzo	24.2	180.6	Vina Femita	16€
32	28 5月23日	Villafranca del Bierzo～Las Herrerias	19.7	160.9	Casa Lixa Hotel Rural Albergue	15€
33	29 5月24日	Las Herrerias～Triacastela	28.9	132.0	Hostal Meson Vilasante	40€(シングルルーム)
34	30 5月25日	Triacastela～Sarria	17.8	114.2	Pension Albergue Puente Ribeira	12€
35	31 5月26日	Sarria～Portmarin	22.2	92.0	PortSantiago	55€(ツインルーム)1人使用
36	32 5月27日	Portmarin～Palas de Rei	24.8	67.2	Pension KM66	65€(ツインルーム)1人使用
37	33 5月28日	Palas de Rei～Arzua	28.5	38.7	Los Tres Abetos	18€
38	34 5月29日	Arzua～O Pedrouzo(O Pino)	19.3	19.4	Albergue O Trisquel	16.5€
39	35 5月30日	O Pedrouzo(O Pino)～Santiago de Compostella	19.4	0	Albergue Porta Real	50€ とても高額
40	36 5月31日	Santiago de Compostella(2日目)	休養日	89.6	Albergue Seminario Menor	24€
41	37 6月1日	Santiago de Cmpostella～Negreira	20.6	69.0	Albergue Rectoral San Mamede de Pena	17€
42	38 6月2日	Negreira～Oliveiroa	33.6	35.4	Albergue Ponre Oliveira	17€
43	39 6月3日	Oliveiroa～Fisterra	35.4	0	O Encontro	15€
44	40 6月4日	Fisterra(2日目)	休養日		O Encontro	15€
45	6月5日	Fisterra～Madrid(Santiago de Compostella経由)	バス、鉄道移動		OK Hostel Madrid①	38€ マドリッドへ移動
46	6月6日	Madrid(2日目)			OK Hostel Madrid②	38€ マドリッド市内散策
47	6月7日	Madrid(3日目)			OK Hostel Madrid③	38€ 王宮、カンポデルモロー公園、ブラド美術館
48	6月8日	Madrid(4日目)			OK Hostel Madrid④	38€ トレド観光(地下鉄、バス)
49	6月9日	Madrid(5日目)			OK Hostel Madrid⑤	38€ ブラド美術館、ソフィア王妃芸術センター
50	6月10日	EY76MAD10:20→AUH19:10	帰国			
51	6月11日	EY878AUH21:55→成田13:00着				

※「日数」の右欄は、巡礼開始後からの日数を示す。



株式会社 日本医療器

皆様に信頼して頂ける商品提供と
安心をお届けするサービスを常に目指します



株式会社日本医療器は関東・東北・北海道を中心に
全国で病院開業支援をはじめ院内全ての医療消耗品や
高度管理医療機器、医薬品販売等を行う専門企業です。
医療現場の更なる利便性向上や経費削減まで
お客様を全力でトータルサポートさせていただきます。

－ 全国6つの事業所からお客様をサポート致します －

開業支援

医療・介護
機器販売

動物医療
サポート

本 社

〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1909-9

tel 028-611-1684 fax 028-611-1598

茨城営業所

〒310-0911 茨城県水戸市見和2丁目550-2-106

tel 029-350-7170 fax 028-611-1598

北海道営業所

〒070-0825 北海道旭川市北門町12-2931-15

tel 0166-74-4004 fax 028-611-1598

群馬営業所

〒379-2123 群馬県前橋市山王町1-23-30-105

tel 027-289-9720 fax 028-611-1598

東北営業所

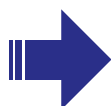
〒981-3125 宮城県仙台市泉区みずほ台13-14-101

tel 022-346-0515 fax 028-611-1598

埼玉営業所

〒349-0217 埼玉県白岡市小久喜927-3-902

tel 090-3339-0234 fax 028-611-1598



<http://j-md.co.jp>



株式会社 ベアー メディック

国内縫合材料メーカーです

医療用縫合材料で**40年の経験と実績**



——《主な取扱い縫合糸紹介》——

■ ペアロン(ポリアミド 縫合糸)

- ・糸全体にわたり均一な直径を保ち、滑らかで抵抗の少ないナイロン製モノフィラメント縫合糸の為、生体内における細菌の増殖も無く、組織反応も非常に少ない。
- ・皮膚及び皮下縫合、マイクロサージャリー等の幅広い分野で使用されている。



■ モノスティングァー (ポリジオキサノン合成吸収糸)

- ・加水分解により生体内で吸収されるモノフィラメント 吸収糸で滑らかな糸送りが可能。
- ・約220日で完全吸収。



■ クロスソーブ (ポリグリコール酸合成吸収糸)

- ・シルクタッチで確実な結紮を可能としたブレイド吸収糸
- ・約100日で完全吸収。



茨城県内採用施設多数増加中

茨城県内、約70施設でご採用頂いております。
商品に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
その他、縫合糸サンプルや試作承りますのでお気軽にご相談下さい。

株式会社 ベアーメディック
東京営業所 03-3818-4041

 地域未来牽引企業
株式会社 ベアーメディック

本社工場 〒319-3526 茨城県久慈郡大子町大子1361
TEL: 0295-72-1811 FAX: 0295-72-4157

東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24 湯島ベアービル
TEL: 03-3818-4041 FAX: 03-3818-4042

大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-1-26 オリエンタル新大阪ビル702号
TEL: 06-6732-9550 FAX: 06-6732-9552

<http://www.bearmedic.co.jp>
info@bearmedic.co.jp



永遠の安らぎの地

ペット霊園

慈苑

慈苑は、ご遺体のお取り扱いから火葬場、納骨堂までそろった静かなペット霊園です。

あなたが愛玩された動物なら、犬・猫はもとより鳥・ウサギ・カメから金魚まで、どのような動物でもお弔い致します。

荼毘^{どひ}の方法は、まとめて火葬する〈合同葬〉、一体ずつ火葬する〈個別葬〉、飼い主さんがお立ち会いになる〈お立ち会い葬〉の3種類が用意されています。

さらに「慈苑」では、年2回（春秋の彼岸）、合同慰霊祭を開催し、愛玩されたペットの霊をお弔い致します。



営業
時間

平日 午前8:30～午後5:00

土曜 午前8:30～午後4:00

日曜・祝日 午前8:30～午後4:00

お問い合わせ・お申込みは下記へ

有限会社ケイエス慈苑管理事務所

(公益社団法人茨城県獣医師会 指定管理会社)

茨城県笠間市日沢 46 番地

TEL 0296-72-5834

FAX 0296-72-9009

<http://jien-pet.com>



老犬老猫ホーム

※ひまわり



当ホームはつくばわんわんランドが運営する老犬・老猫ホームです。
 様々なご事情でご利用いただいている飼い主様と、
 そのわんちゃんやねこちゃんが穏やかな日々をお過
 ごしいただけるようにお手伝いしております。



このようなお悩みの方に
 ご利用いただいております

飼い主が施設に入所することになった
 飼い主の入院期間中、預けたい
 介護により心身ともに疲れてしまった
 仕事もあり、介護を
 十分にしていられなさそう
 など…

ご利用までの流れ

- ① カウンセリング & 施設見学
- ② ご契約手続き
- ③ ご入所日決定
- ④ ご入所

※ご入所後もご面会・
 一時ご帰宅可能です。



※ひまわり

老犬老猫ホーム

TEL 029-886-3601

URL <http://www.rouken-kaigo.co.jp> E-mail info@rouken-kaigo.co.jp

株式会社つくばわんわんランド
 〒300-4353 茨城県つくば市沼田 579
 動物取扱業の種別：保管 登録番号：茨城県第 2583 号
 登録年月日：令和 2 年 5 月 14 日
 動物取扱責任者：田口弘樹





国際会議はもとより、さまざまな会合やイベントを開催するのに最適です。

つくば国際会議場 Tsukuba International Congress Center EPOCHAL TSUKUBA

〒305-0032 つくば市竹園2-20-3

TEL 029(861)0001 FAX 029(861)1209

E-mail: office@epochal.or.jp URL: <https://www.epochal.or.jp>

日本公庫 ダイレクト



「日本公庫ダイレクト」はお客さまと日本公庫をつなぐお客さま専用のオンライン窓口です。簡単な会員登録手続き（無料）で、様々なサービスをご利用いただけます。

《日本公庫ダイレクトの主なサービス》

- ①日本公庫からの各種おすすめ情報をメールで確認
- ②ご登録いただいた都道府県で開催されるセミナー情報の確認や参加申込
- ③お取引状況をオンラインで確認※
- ④各種証明書をオンラインで入手※

※会員登録に加えて、お取引先さま専用サービスの利用申請が必要となります。

「続けたい」と「始めたい」をつなげる。

後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や事業拡大等に向けて「事業を譲り受けたい」とお考えの方をつなぐ、マッチングサービス「事業承継マッチング支援」を提供しています。

日本公庫 事業承継マッチング

検索



日本政策金融公庫
国民生活事業

対マカオ・ベトナム・タイ牛肉輸出認定施設
いばらきハサップ認証と畜場(牛枝肉)

株式会社茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 飯塚 博之

安全安心な食肉処理、食肉卸売市場、部分肉加工
主な取扱ブランド 常陸牛/ローズポーク/美明豚

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975
TEL029(292) 6811 FAX029(292) 6895



一時的な精神的ストレスがかかる状況での

ストレス緩和 睡眠の質向上



機能性表示食品
(製品・成分評価)

1本(100ml)に
「乳酸菌 シロタ株」を
1,000億個含んでいます。

〈乳製品乳酸菌飲料〉100ml

届出表示：本品には乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)が含まれるので、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、また、睡眠の質(眠りの深さ、スッキリとした目覚め)を高める機能があります。さらに、乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。●本品は国の許可を受けたものではありません。

水戸ヤクルト販売株式会社

〒311-4164 水戸市谷津町1-35 TEL.029(251)8960

いわきヤクルト販売株式会社

〒971-8122 いわき市小名浜林城字向田2-1 TEL.0246(58)8960

古河ヤクルト販売株式会社

〒306-0015 古河市南町1-62 TEL.0280(31)8960

千葉県ヤクルト販売株式会社

〒264-0017 千葉市若葉区加曽利町63 TEL.043(311)8960

クレジットカード決済対応! /
WEBからのお申し込みは

ヤクルト届けてネット

検索



[商品に関するお問い合わせ] ☎ 0120-11-8960 携帯電話からは ☎ 0570-00-8960 (有料)へ

ヤクルトお客さま相談センター 受付時間 10:00~16:00 (土日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く) ※時間を短縮しております。

人も地球も健康に
Yakult

明治アニマルヘルスは 狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

飼い主の皆さまへ向けて



リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」



アニメーション「狂犬病ワクチンを注射しましょう」



動画はこちら



※本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用してください。

meiji 明治アニマルヘルス株式会社
熊本市北区大窪一丁目6番1号

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行はSDGs推進プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



<https://www.tsukubabank.co.jp>

筑波銀行

検索する



筑波銀行

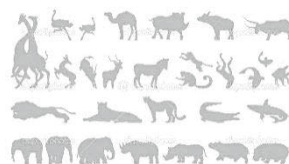
茨城県動物薬品器材協会



◎動物薬品・器材関係は私達がお手伝い致します◎



アけい(株)茨城営業所
 (株)アスコ茨城営業所
 近藤薬品(有)
 (株)大正堂茨城営業所
 森久保薬品(株)
 森久保CAてい加(株)



家畜共済



ノーサイくん

～農家が飼養する家畜の事故を補償します～

▽死亡廃用共済…飼養家畜が死亡や廃用になった場合に補償

▽疾病傷害共済…飼養家畜の疾病や傷害による診療費を補償

詳しくは、お住まいの地域を管轄する農業共済組合もしくは茨城県農業共済組合連合会へお問い合わせ下さい。

○いばらき広域農業共済組合

本 所：Tel029(350)8815
 笠間支所：Tel0296(72)7321
 つくば支所：Tel029(839)0160

水戸支所：Tel029(306)6720
 常陸太田支所：Tel0294(72)6227

○鹿行農業共済組合：Tel0299(90)4000

○茨城県西農業共済組合：Tel0296(30)2900

○茨城県農業共済組合連合会

代 表：Tel029(215)8881
 診療所：Tel029(215)8887

資産共済課(家畜)：Tel029(215)8885

公益社団法人 茨城県畜産協会



家畜の衛生対策を支援する事業を行っています（衛生課主管）

1. 家畜生産農場衛生対策事業

- （1）獣医師による衛生管理指導等の支援
- （2）ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫、牛ウイルス性下痢の蔓延防止、早期清浄化を図るために行う検査、とう汰の助成

2. 伝染性疾病発生予防事業

オーエスキー病、アカバネ病、イバラキ病、牛クロストリジウム感染症及び牛伝染性鼻気管炎等の予防接種の実施

3. 地域養豚生産衛生向上対策支援事業

指定獣医師による PRRS のまん延防止を図るための衛生指導の実施

4. 馬関係予防接種事業

育成馬や乗用馬の馬インフルエンザ、馬鼻肺炎等の予防接種の助成

5. 豚熱ワクチン接種事業

知事認定獣医師（指定獣医師）による豚熱ワクチン接種の実施

6. 地域農場 HACCP 認証支援

認証取得を希望する農場に対する指導技術者の指導料の助成と普及推進

7. 獣医師養成確保修学資金給付事業

茨城県農林水産部の獣医師職員を志す学生に対する修学資金の給付

※当協会 HP では「家畜衛生情報」等を発信しています。

〒310-0022 水戸市梅香 1 丁目 2 番 56 号 県畜産会館 1 F

TEL 029-225-6697（衛生課） FAX 029-225-6718

URL <https://ibaraki.lin.gr.jp> e-mail info@ibaraki.lin.gr.jp

おいしさふれあい。
IPF.プリマハム



かおり、
うまい、
香薫！



香薫あらびきポーク CM ホームページで公開中！

プリマハム

検索 

編集後記

来年 2025 年は、昭和元年から丁度 100 年となり、昭和 20 年の終戦から 80 年となります。戦後直後の昭和 22 年～昭和 24 年に生まれた第 1 次ベビーブーム世代いわゆる「団塊の世代」の約 800 万人の方々が、75 歳以上の後期高齢者となり、このことにより起こる社会保障費の負担増や労働力不足などを「2025 問題」といわれています。

だが、獣医師業界は、毎年ほぼ一定数の新規獣医師が輩出されていることから、第 1 次や第 2 次ベビーブーム、少子化などによる世代別による偏りや高齢化は起らず、したがって 2025 問題の労働力不足に関しては、当業界では発生しないと思われます。

ただし、地方獣医師会の構成会員の世代別には偏る傾向が見られるようです。今年 7 月に発行された日本獣医師会雑誌第 77 巻第 7 号に掲載されている『獣医師会組織基盤の強化に向けた地方獣医師会の取組』（鳥海弘）に、「おおむね 5 年ごとの構成獣医師数の推移をみると特にここ 5 年間の減少が激しく、世代別の推移をみると 35 歳以下の若い世代の会員数減少とともに、36 歳から 50 歳までの中堅獣医師の会員数の減少が顕著である」と記述されています。この状況がこのまま続くと、地方獣医師会は、会員数が減少するとともに、世代別の偏りや高齢化が一層進むかもしれません。

当会報には、幅広い世代からご投稿をいただいております。2025 年も引き続き前述の高齢化等の問題も含めた多岐にわたる多くのご投稿をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

(橋本邦夫)

茨城県獣医師会会報編集委員

委員長	橋 本 邦 夫 (勤務退職者支部)
副委員長	楠 原 美 和 (県南ブロック)
委 員	高 橋 覚 志 (担 当 理 事)
	村 田 篤 (県北ブロック)
	久 家 直 樹 (鹿行ブロック)
	落 合 薫 (県西ブロック)
	村 山 正 利 (勤務退職者支部)
会報担当	川 崎 敦 (専 務 理 事)
	中 野 真紀子 (職 員)

茨城県獣医師会会報

令和 6 年 11 月 25 日 発行

第 102 号

発 行 所 茨城県獣医師会
〒310-0851 水戸市千波町 1234-20
TEL029-241-6242 FAX029-241-6249
<https://www.ibajyuu.com>
発行責任者 宇佐美 晃
編集責任者 橋 本 邦 夫
印 刷 所 (有)クリエイティブサンエイ



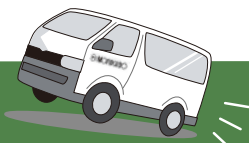
ZENOAQ

動物の価値を高めること。
それが、私たちの使命です。



森久保薬品株式会社

私たち森久保薬品は
人と動物のこれからを真剣に考えています。



【事業部一覧】

神奈川事業部：046-221-0620

山梨グループ：055-287-7188

群馬事業部：027-230-3322

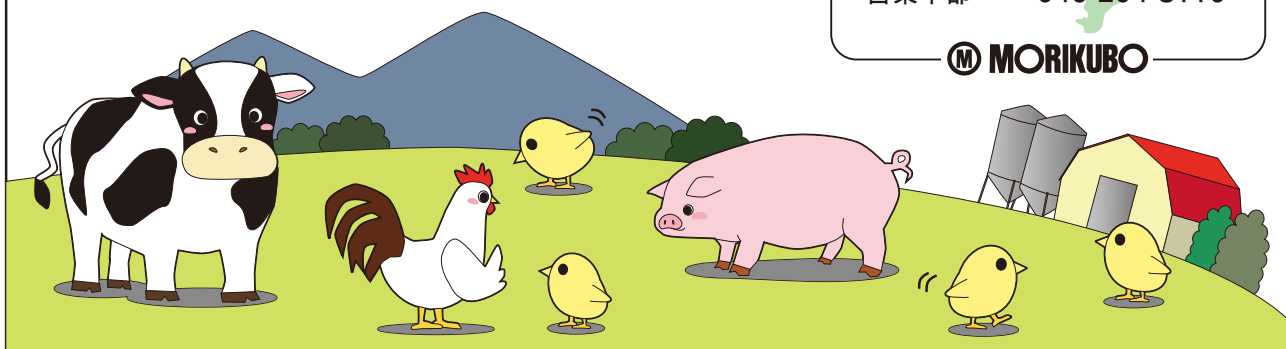
栃木事業部：028-666-3399

茨城事業部：0296-43-1661

千葉事業部：043-309-8080

営業本部：046-204-8110

 MORIKUBO



私たち森久保CAメディカルは
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

動物が私たちに教えてくれたことは多いはず
人と動物が寄り添うしあわせは地球上の暮らしすべてをあたためる
人へのいたわりと同じ気持ちで動物の健康をみつめたい
それが私たちの願いです

動物用医薬品全般

動物用栄養補助食品

獣医師用器具機材

獣医関連書籍

療法食・一般食

メディカルウエア

トリミング用品

その他ペット関連用品各種

 森久保CAメディカル株式会社

神奈川営業所：046-206-5713

山梨出張所：055-287-8622

東京営業所：042-564-2381

埼玉営業所：04-2968-0881

三郷営業所：048-948-2112

茨城営業所：0296-54-6101

千葉営業所：043-309-5430

営業本部：046-222-2333